

Shibaura Institute of Technology

2022 June Vol.27

校友会 だより

創立100周年に向けて



校友会ホームページはこちら
<http://www.shibaura-koyu.jp/>

2022年9月20日 豊洲キャンパス 校友会館竣工予定



芝浦工業大学校友会の概要と活動について

全国の卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は校友会活動にご尽力、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2021年度も、新型コロナウイルス感染拡大により、校友会主催のイベントの中止や各種会議がリモート方式での開催となりました。各支部におきましても多くの支部総会が書面やリモートによる開催となり、または中止を余儀なくされた支部も多くございました。

全国総会・懇親会も2年間の中止を決断いたしました。本年は2022年6月11日(土)品川プリンスホテルにて開催いたします。

この間、執行役員会、事業委員会、実行委員会の皆様には万全なる感染防止対策を検討いただき、開催にこぎつける運びとなりました。

2022年9月に校友会館・校友会事務局・校友倶楽部は、現在の芝浦キャンパスから、豊洲キャンパスのアーキテクチャープラザ内に移動することが決定いたしました。

現アーキテクチャープラザは新「校友会館」と改名して運営する予定です。

芝浦工業大学校友会は昭和3年に発足しました。本部を東京都港区に設置し、現在は海外5支部(台湾・シンガポール・上海・タイ王国・韓国)と国内(北海道から沖縄)にお住まいの会員で構成されている48の地域支部、官公庁や一般企業などに在職・退職された会員で構成している25の職域(企業)支部、2021年度新たに加入されたアメリカンフットボールOBOG会支部が属する同好会支部(学科・研究室・スポーツ等の共通するグループの会員で構成)が22支部、合わせて95の支部が活動しています。

校友会の目的は、会員相互の交流と親睦を深め、社会貢献に寄与する活動の支援を目的としています。また、母校在学学生への支援・教育事業を援助し、母校の発展に寄与する活動を行なっています。

現状は支部と本部が連携して下記のような活動を行っています。

1. 在校生の就職支援活動
2. 在校生の研究・実習活動への協力、卒業生による「実学サロン」の開催
3. 在校生主催「芝浦祭」・「大宮祭」への支援
4. 新入学生(女子)への支援
5. 新卒業生への記念品贈呈
6. 母校開催の賀詞交歓会への協賛
7. 母校記念事業への協力
8. 箱根駅伝予選会出場への支援活動
9. 母校開催父母懇談会への参加協力と後援会との交流
10. 校友会全国総会、賀詞交歓会の開催
11. 校友会支部への連携強化と活動支援
12. 「経営者懇談会」開催による芝浦工業大学校友会の強化
13. 全国卒業生名簿の追補版発行
14. 資格習得講座の提供
15. 校友倶楽部の活用

本年度も各事業活動での協賛・支援などを含め、様々な活動を行なってまいります。芝浦工業大学校友会は、在校生、後援会ならびに教職員との連携を密にし、芝浦工業大学の社会的基盤を更に強固にするための活動をしてまいります。

最後に皆様のご健勝を祈念いたしますと共に校友会活動にご支援ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

目次

芝浦工業大学校友会の概要と活動について

| | |
|-----------|---|
| 役員挨拶 | 1 |
| 会 長 | 1 |
| 総務広報委員長 | 2 |
| 財務委員会 | 2 |
| 事業委員会 | 3 |
| 組織委員長 | 3 |
| 例規委員会 | 4 |
| 特別委員会 | 4 |
| 役員紹介 | 5 |
| 常任幹事会議長紹介 | 6 |
| 理事長挨拶 | 7 |
| 学長挨拶 | 8 |
| 新校舎建設ページ | 9 |

| | |
|------------------------|----|
| 校友会館 | 10 |
| 「広報芝浦」よりスキー部座談会 | 12 |
| shiba-jo プラチナネットワークご紹介 | 16 |
| 校友会活動 | 18 |
| 支部活動報告 | 22 |
| “支部旗”全国にひるがえる | 53 |
| 芝浦工業大学校歌 CD の販売 | 53 |
| 常任幹事会、相談役・顧問名簿 | 54 |
| 支部及び支部長紹介 | 57 |
| 公開講座のお知らせ | 58 |
| 資格取得講座のご案内 | 59 |
| 校友会本部事務局紹介 | 60 |
| 大学オリジナルグッズのご紹介 | 60 |
| 在校生就職支援ご協力のご願い | 61 |
| 編集者・協力者紹介 | 61 |
| 広 告 | 62 |

会長挨拶



芝浦工業大学 校友会
会 長
加藤 善次郎

機械工学科 昭和 55 年卒

校友会会員の皆様、ご家族の皆様如何お過ごしでしょうか。一昨年の正月明けに横浜港のダイヤモンドプリンセス号の新型コロナウイルス感染報道から2年以上の時が過ぎ、感染のピークも第6波を迎え、未だ終息の気配は見えない状況が続いております。くれぐれもご自愛頂くよう切に願うばかりです。

さて、私は一昨年の7月、鈴見健夫前校友会会長（現理事長）の後を引き継ぐ形で、校友会の会長に就任し、今年で2年が経過しようとしています。この間新型コロナウイルス感染防止対策を第一に皆様との交流も中止や延期、それでも可能な限り支部総会、各種委員会の開催実現を目指し、書面による開催やオンラインによる開催をお願いし、何とか校友の和が途切れないように皆様にご協力を賜ってまいりました。皆様には改めて御礼申し上げます。

校友会は昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を第一に、大学の感染症防止対策と行動を一にする形で校友会全国総会、幹事会について会場での開催を断念し、書面審議とさせて頂きました。また、懇親会については中止させて頂きました。しかし、今年の全国総会、懇親会は、2年間中止を余儀なくされた状況を何とか打破したく、執行役員、事業委員会、実行委員会の皆様に万全なる感染防止対策を検討頂き、何とか開催にこぎつけたいと連日協議してまいりました。この校友会だよりがお手元に届きます校友会総会時には、皆様と再会していることを切に願います。同窓との再会を心待ちしていた諸先輩方には、大変長い間お待たせ致しました。

次に校友会館が田町にある芝浦キャンパスの7階から、豊洲キャンパス内の現アーキテクチャープラザ（建築学部製図棟）内に移動することが決定しましたことを報告させて頂きます。アーキテクチャープラザは、平屋建て、延床面積約600m²の恒久施設で、現校友会事務局、校友倶楽部の約2倍以上の面積を有します。第二キャンパス竣工（本部棟）とともに建築学部引越し後、内装工事を実施し、今年の9月20日から運営の予定です。この施設は、かなり大きな施設であり、校友会のみならず学生や地域の交流スペースとしても使われる予定です。是非、皆様の来校をお待ちしております。

校友会には、総務、事業、財務、例規、組織、特別、就職支援の7委員会が設置され、各委員会は、副会長が委員長として企画、立案、運営を行っています。その中、就職支援委員会は、会長の私が委員長を兼務しております。大学とともに100%の就職率の達成を目指して学生の就職支援に協力をしています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で採用を各企業が手控える中、芝浦工業大学では、4月末現在97.0%と例年に近い就職率を達成できました。多くの卒業生企業への就職が叶いました。皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、今後のご協力をお願い申し上げます。

最後に校友会会員の皆様、ご家族の皆様のご繁栄、ご健勝を心から祈念申し上げます。

副会長・総務広報委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

吉池 富士夫

金属工学科
昭和 51 年 卒業

校友会歴
平成27年 埼玉支部長員
平成29年 副会長（財務委員長）

経 歴
平成25年 (株)LIXIL 専務執行役員
平成28年 飯田グループホールディングス(株) 執行役員
令和 2年 (株)吉池事務所 代表取締役

卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

また長引く新型コロナウイルス感染拡大により健康被害に遭われた方には衷心よりお見舞い申し上げます。

まだまだ先が読めない不安定な状況の中、校友会活動に変わらぬご尽力を賜りますこと、まずもって深く御礼申し上げます。

総務広報委員会におきましては関係各位のご協力のもとに、本誌『校友会だより』の発刊が予定通りできますことは大変嬉しい限りです。毎年巻末には賛助広告を多数いただき誠にありがとうございます。

特に今回の読み物としては、『しばうら人 卒業生の「今」』欄に先輩方によるスキー部卒業生座談会の模様をお伝えしています。

当時の芝浦のすばらしさに心打たれる内容です。ぜひご家族はもちろんのこと卒業生以外の方々にも広く読んでいただきたいと思えます。

今年度は、昨年本誌表紙を飾った豊洲キャンパス新校舎の完成に加え、その隣に永年待望の『校友会館』ができます。

総務広報委員会としましては、この先テレワーク等も踏まえながら本部事務局の豊洲への移転を滞りなく実施してまいります。

移転後は就職支援等で後輩の学生諸君たちとの接点により新たな楽しみが増えそうです。

コロナ禍においても着実に進化してまいりたいと存じます。

皆様のご健康とご多幸をお祈りしつつ、引続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。

今年も一緒に明るく前に進んでまいりましょう !!

副会長・財務委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

福井 幸博

電気工学科
昭和 55 年 卒業
地域環境システム専攻
平成 23 年 博士課程修了

校友会歴
平成27年9月～ 常任幹事
令和元年7月～ 富山支部長 現在に至る

経 歴
平成25年8月 文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム・プロジェクトディレクター
平成30年4月 (一財)北陸産業活性化センター 特別参与 現在に至る

卒業生の皆さまには、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は校友会活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、財務委員会の主なミッションは、校友会活動の年度予算編成及び実績管理です。予算編成は、その時々校友会が直面する課題と、それらを克服するための処方箋が凝縮された政策の集合体と考えています。加藤善次郎会長の下、令和2年6月に新しい校友会がスタートし、会長の方針に沿って予算編成を行い事業は順調に進んでいます。校友会活動は、令和2年当初から始まった新型コロナウイルス(COVID-19)流行拡大の影響から、校友会の活動が大きく変化しました。毎年開催される全国総会をはじめとする会場に集合する事業の中止、対面で行っていた会議等はオンラインによる面談や書面審議へ移行し、校友会事務局の田町から豊洲キャンパスへの移転等が進んでいます。大学への対応では、新型コロナ流行に対し学生が退学等しないようにすること、ワクチンの職域接種促進の支援、女子学生の入学者数を増やすための奨学金支援等に取組みました。

令和4年度の事業計画で予定される、校友会本部と支部の連携強化および支部の支援、若手・女性会員の加入促進による組織強化、大学への支援等々の事業に対し、財務委員各位と協力し、選択と集中、優先度の高いものへ重点配分を行います。加えて、まだしばらく継続が予想される新型コロナウイルス対策、令和9年(2027年)に迎える大学創立100周年に向けた事業企画、さらにその後の校友会も考えながら、校友会会員一人一人の思いを予算に刻み込んでいきたいと考えています。今後ともご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

副会長・事業委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

釜井 重一

建築学科
昭和 55 年 卒業

校友会歴
平成23年 常任幹事就任
平成29年 副会長（事業委員長）就任（3期目）

経 歴
平成30年 三井住友建設(株) 定年退職
平成30年 釜井建設マネジメント(株) 代表取締役就任

校友の皆様、如何お過ごしでしょうか。この挨拶文を執筆している3月初旬、新型コロナウイルスが蔓延して丸2年強、東日本大震災被災後11年、世界に目を転じると北京冬季パラリンピック開催中、韓国大統領は尹錫悦氏に決定、ロシアがウクライナに侵攻開始して2週間強。目まぐるしく世の中が変転していく中で、自分を見失わないよう自制しているところです。皆様もご自愛ください。

事業委員会の主な活動としては、新年賀詞交歓会と実行委員の方々と全国総会・懇親会の運営とが主なものです。前年度は上記2つの活動が新型コロナのため中止となってしまいました。

今年度は、6月11日（土）に皆様が品川プリンスホテルの会場でこの校友会だよりを手に歓談されていることを切に願います。また2023年1月の新年賀詞交歓会は、校友会館が豊洲に移りますので、そちらで皆様の元気なお姿を拝顔できるよう重ねて祈念いたします。

校友会の活動は、全国の各支部の校友の皆様や、海外支部の校友の皆様の暖かいご支援で成り立っています。

このところ2年もの間新型コロナで、人と人とのつながりが断たれています。校友の皆様のために芝浦工業大学や在校生、教職員との何らかのつながりを再度持てるように、色々な会を企画していきたいと思えます。校友会主催の懇親会等に奮って参加いただき旧交を温め、また新しい出会いの場としていただきたいと思えます。

校友の皆様方の御支援、ご鞭撻のほど改めて深くお願い致します。

副会長・組織委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

飯島 敏春

機械工学科
昭和 54 年 卒業

校友会歴
平成26年 常任幹事・監査役 就任
令和2年 副会長・組織委員長 就任

経 歴
平成28年 日本通運(株) 参 与 就任
平成29年 日通商事(株) 人事部 調査役 就任

卒業生の皆様におかれましては、コロナ禍にありましても、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は校友会活動に多大なるご理解とご協力を賜りまして、心より御礼申し上げます。

さて組織委員会の活動は、下記に示すとおりですが、一昨年からの新型コロナ（COVID-19）感染の影響で、全国総会や各地支部総会の開催も対面開催が出来ない状況でした。アフターコロナ時は、通常支部総会と合わせて、会員が一堂に会して審議及びPC等を用いたWEB会議での審議を併用する支部総会（ハイブリット支部総会）も承認し、助成金も増額する事で校友会組織の活性化・拡充を図りたいと存じます。

昨年はアメリカンフットボール部 OBOG 会支部が新たに支部創立があり、20代30代の若い会員が校友会活動に参加して頂ける事、感謝申し上げます。

校友の皆様におかれましては、校友会と大学の益々の発展になお一層のご支援を宜しくお願い申し上げます。一日も早く新型コロナ感染症の終息と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

組織委員会 活動内容

- ・ 休眠支部・新規支部立ち上げの推進
- ・ 本部と支部との連携強化及び情報の共有化
- ・ 後援会との交流推進（全国父母懇談会）
- ・ 海外支部活動の活性化
- ・ 校友会会員名簿（追補版）発行の打合せ
- ・ 新規事業内容の検討

監査役ご挨拶



芝浦工業大学 校友会

監査役

小川 達生

通信工学科
昭和51年卒業

校友会歴

平成26年 本部常任幹事 就任
平成29年 本部監査役 就任 現在に至る

経歴

平成21年 (株)日新コンピュータシステム 代表取締役 就任
平成29年 (株)日新コンピュータシステム 取締役会長 就任
現在に至る

本部監査役に就任して5年になりましたが、「在校生を100%就職させる」という想いは変わらず活動を行ってまいりました。最近では、学生優位の就職状況が続いていますが、ウクライナの状況、コロナの状況次第では、買い手市場になるかもしれません。今後ますますDX人材が必要となります。大手企業に入社できなくとも中堅IT企業に就職し、技術の習得と経験を積むことにより大手企業の情報部門への転職が可能となります。これも大手企業への入社方法と捉えて中堅IT企業を目指すのも良い方法だと思います。堅実な経営をされ、好成績を残している中堅IT企業もあります。そのような企業に今年は積極的に就職のあっせんを行いたいと思います。在校生が中堅IT企業に目を向けるよう、各地で行われる当校の父母懇談会等において、中堅IT企業に入社した芝浦工業大学の若い卒業生には、父母・在校生に向けて中小企業の魅力を語っていただきたいと考えています。学生のために継続的な就職支援活動を行ってまいりたいと思います。

監査役としての活動は、定期的に監査役委員会を開催します。執行役員会、各種委員会、常任幹事会、イベント等に参加し、規程に則り委員会活動、本部の活動等が行われているかを監査し問題がある場合、議事録に記述し執行役員会にて報告をしています。半期ごとには、会計監査を行ない、年度末には資産の棚卸し、次年度予算の監査も行っております。

今後、校友会会員を増やすためコロナ禍で難しいと思いますが自身と関係した地方の校友会活動に積極的に参加し活性化を図り、より良い校友会になるよう努力してまいります。



芝浦工業大学 校友会

監査役

小貫 諭

大学院工学研究科
工業化学専攻
昭和52年 修士修了

校友会歴

平成25年 群馬支部長 就任
令和2年 監査役 就任 現在に至る

経歴

昭和61年 群馬セラミックス(株)代表取締役 就任
平成29年 群馬セラミックス(株)取締役会長 就任
現在に至る

監査役を拝命し、早いもので2年目に入ろうとしています。しかし、なかなか、コロナは我々から離れず、本来は皆さんと酒を酌み交わし、言いたいことを言って、楽しむはずだったのですが…

それどころか、世界は、またまた、あわや第3次世界大戦が勃発しそうな気配が流れる始末。

今年こそはと思えども、まだ春遠からじ…

ようやくコロナ禍からぬけでそんな感を誰もが抱いていたと思います。しかし、またウィルスは、名前を変えて襲いかかってきました。

ここはただ、人間の英知がいつか闘いを制する時が来ることを期待したいものであります。冬は必ず春となり。明けない夜はないではないか。じっくりと耐えることから新しい何かが生まれ、ふんばって気持ちを明るく、前向きに先の未来に思いを馳せしてみたいですね。

そんな状況下でも、新しい校友会館ができ、さらなる発展を遂げてゆく芝浦工業大学に誇りを持ち、感謝の念に堪えません。

今後も、監査役として、芝浦工業大学が、法的に健全かつ大きな発展を遂げることを目的に、自分の生き方、世に残せた実績を校友会活動にうまく合致させ、校友会の皆さんのために大きく貢献していくつもりであります。

監査役ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
監査役

作山 康

建築工学科
昭和 58 年 卒業

校友会歴
平成29年 常任幹事
令和 2 年 監査役

経 歴
昭和58年 株式会社都市環境研究所（研究員・主任研究員・執行役員）
平成23年 芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科（教授）

2021 年度より監査役として校友会の様々な事業や会計上の執行等を監査し、適正に運用できているかをチェックする重要な役割を先輩監査役と共に担当させていただいています。まだまだ勉強することが多いですが、執行役員として加藤会長を中心に校友会執行部のご苦勞や会員に対する思いやりと様々な工夫を毎回拝見させていただき、執行委員、幹事をはじめとする先輩方の母校に対する強い想いに感謝するばかりです。

数少ない本学出身教員の立場から執行役員会において学内の状況も踏まえながら、OBOG 会との連携や現役学生から校友会へ期待したいことなど教員のフィルターが入ってしまいますが大学内の状況を伝えていければと思っています。

コロナ禍の影響は学生に少しずつ表れていたり校友会としての活動も制限されている中で、この 2 年間は校友会活動も制限されてきた中で考える可能な活動はできたのではないかと考えています。

念願の校友会館が開設される 2022 年そして 100 周年に向けて、新たな希望やコロナ禍の経験を踏まえたこれまでとまた違う校友会活動を、諸先輩や若い力と共に力を合わせて展開できればと考えています。今後とも皆様よろしく願いたします。

常任幹事会議長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
常任幹事会議長

林田 和雄

建築学科
昭和 52 年 卒業

校友会歴
副会長（5期）
常任幹事会議長（2期）

経 歴
一級建築士事務所 創造社勤務（在籍21年間）一級建築士
東京都港区議会議員（5期20年）
株式会社 アカネ（豊島支店長）

鈴見理事長のご指導のもと、加藤会長を中心に前進する校友会は 3 年目を向かえています。新体制で出発した校友会ですが、世界的なコロナウイルス感染症の影響もあり校友会活動はテレワークを中心に、様々な制約を乗り越えつつ本日に至っています。これまで大きな混乱もなく芝浦工業大学・校友会が社会貢献できるのも多くの教職員の皆様のお蔭と衷心より感謝と御礼を申し上げる次第です。またコロナ禍という困難な時代にあって、学生諸君は学業の習得や生活の維持の為、多くの苦勞に耐える日々が続いています。衷心より応援のエールを贈ります。

芝浦工業大学は創立 100 周年を目指し学部学科の再編制や施設整備、学生生活の支援など多くの事業に挑んでいます。「教育なくして時代を支える人は育たない」という言葉があります。芝浦工業大学に学んだ卒業生は「困難な時代」だからこそ、先輩・後輩を大切にしながら「同窓の絆」を堅持して参りました。また混迷の時代だからこそ立場の違いを乗り越え、信頼できるリーダーが求められます。不確実な社会にあって芝浦工業大学卒業生は「信頼できる・頼りになる」と言われるよう精進して参りましょう。今後とも「若手の登用」と「経験豊かな諸先輩の団結」で「芝浦工業大学ここにあり！」との気概で前進して参ろうではありませんか。

理事長挨拶



学校法人芝浦工業大学
理事長
鈴見 健夫

全国の校友の皆様、ご家族の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は校友会活動にご尽力、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。コロナ禍も3年目を迎え「まん延防止等重点措置」も全国で延長が続いています。大学では大宮キャンパス、豊洲キャンパスにてワクチンの職域接種を昨年7、8月に1、2回目を約7,500名に接種、今年の3月に3回目を予定しています。それでも延感染者数は264名(3/1現在)です。但し授業は対面、オンラインの併用によるハイブリッド型授業を継続しています。

今年の入学試験は前期2月1、2、3、4日、後期2月21日に実施されました。

志願者数もほぼ昨年並みの38,000名でした。

明るいニュースとしては豊洲キャンパス第二校舎がこの4月に完成いたします。

本部棟(Centennial Main Building)と名付けました。1階にはイタリアンレストラン「銀座シシリア」・カフェ「セガフレードザネッティ」が設置予定です。その内装設計は世界的建築家の坂茂さんです。オープンテラスとなり地域の皆さんにも開放される予定です。加えて現状の大階段がフラワーガーデンにリニューアルされます。こちらは本学のシンボリックな象徴となりオープンテラスとの相乗効果により学内外の皆さんの憩いの場となるでしょう。

何より本部棟での教育・研究活動が始まります。ベイエリアオープンイノベーションセンターを設置し産学官共同研究及び教員や学生・卒業生の起業活動を推進します。

隣には校友会館が設置されます。校友会事務局・校友会ラウンジ・交流プラザ(約150名定員)が予定されています。学生・卒業生・企業・地域の皆様との交流スペースです。リカレント教育・公開講座等にも使われます。是非校友の皆様が上京の折には立寄って頂きたいと思います。また校友会館の有効活用につきましても提案頂きたいと思います。

創立100周年記念事業の一環としての「箱根駅伝支援プロジェクト」が今年で4年目を迎えます。この3月には駅伝部専用の白垂寮(定員60名)が完成します。100周年迄にはチームとして箱根路を走れるように支援をしていきたいと思っています。全国の校友会支部に駅伝選手候補の推薦を御願ひしています。皆様の母校に有力候補選手が居ましたら推薦を宜しくお願い致します。

芝浦工業大学は2027年の創立100周年にはアジア工科系大学トップ10・日本国内私立理工系大学ナンバーワンを目標に教職学協働で取組んでまいりますのでご支援を宜しくお願い致します。

結びに全国の校友の皆様、ご家族の皆様のご繁栄、ご健勝を心から祈念申し上げます。

学 長 挨 拶



芝浦工業大学
学 長
山 田 純

校友会の皆さま、コロナウイルス感染症に関しましては、終息に向けた良い兆しが見え始めておりますが、いかがお過ごしでしょうか。2022年に入り、本学でも多くの学生教職員の感染者を出しました。しかし、おかげさまで大事にはならず、最近は少し落ち着いた状況にあります。この便りを執筆している段階では、卒業式も、入学式も開催できる見込みにあります。このまま、2年にわたったコロナ禍が終息してくれることを祈っています。

さて、昨年4月に学長を拝命して以来、1年が過ぎようとしています。周囲の皆さんの助けもあり、なんとか初年度を乗り切れそうです。そんな1年ではありましたが、学長として、新しい取り組みも進めています。

既にご存じのように、豊洲キャンパス本部棟（新校舎）は4月に竣工を迎えました。これから秋にかけて、建築学部の豊洲キャンパス内での移転に加えて、芝浦キャンパスからはデザイン工学部が移転してきます。建築学部においては、これを機に、リエゾンオフィスやリサーチcommonsを設置し、さらなる国際化を図るとともに、研究力の強化に向けて「未来の建築と社会」を探究する研究センターの設置を検討しています。

デザイン工学においては、豊洲移転を機に、その教育目標を見直すという大がかりな改革を計画しています。この改革への思いは、移転を議論している中で、デザイン工学部の教員から自然とわき上がってきました。規模的に大きな工学部に飲み込まれないように、しっかりとしたデザイン工学部のアイデンティティを確立しようというのが狙いです。近々、新しいデザイン工学部の姿をお見せできると思います。

工学部もまた、2024年に大規模な組織改革および教育プログラム改革を断行する予定です。昭和の時代から続くとも言われる縦割りの学科制を廃止し、時代や社会の要請に応じた柔軟な教育プログラムを提供できる課程制への移行を計画しています。これにより、建学の精神、「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」を、より高いレベルで実践できると確信しています。

最後になりますが、システム理工学部では、学部定員増とキャンパス整備をとまなう、さらに大がかりな改革の検討が進められています。システム理工学部は、今年30周年を迎えましたが、これからも、創設時の教育理念を大切にしつつ、グリーンキャンパスという特徴を活かし、サステイナブルな社会創成に貢献する技術者を育成して行きます。

2027年の創立100周年に向けて、大きく変わる芝浦工業大学にご期待下さい。

校友会館



2022年9月20日 竣工予定

校友会館のデザインについて

芝浦工業大学建築学部建築学科 准教授 猪熊純
成瀬・猪熊建築設計事務所

今回の計画は、豊洲の新キャンパス整備と共に計画された、校友会の新たな拠点施設である。キャンパスの中で唯一、一階建という特別な位置付けであることもあり、頂いた条件は、「校友会だけにとどまらず、学生や地域にひらかれた、交流の拠点になるような施設にしてほしい」というものであった。

こうした場づくりは、様々な立場の人々がそれぞれにあった利用方法で使いこなせるフレキシビリティと、心地よさの両立が鍵となる。そこで今回は、最も広い交流ラウンジの2/3を、稼働の家具のみで構成し、日常的に学生たちが集えるような気楽で自由なスペースとなる一方、研究発表や展示会として再構成したり、常任幹事会の際には120席の椅子を並べることもできる状態を可能にした。

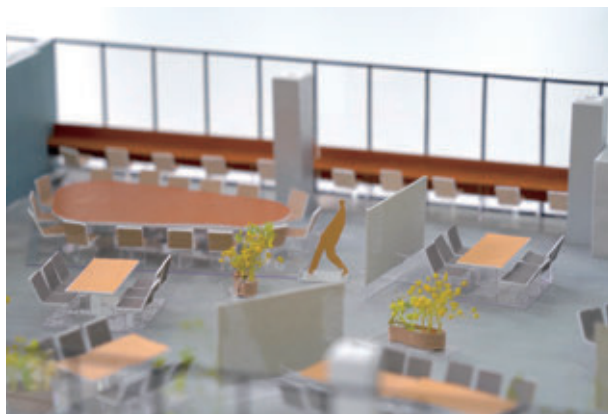
内装の雰囲気も、様々な人が入りやすいよう、カフェ的でありラウンジ的でもあるような、くつろぎ感のあるものを目指した。完成後は、キャンパスで一番人気のある場所の一つになってくれたらと思っている。



交流スペース全体



交流スペース（上から）

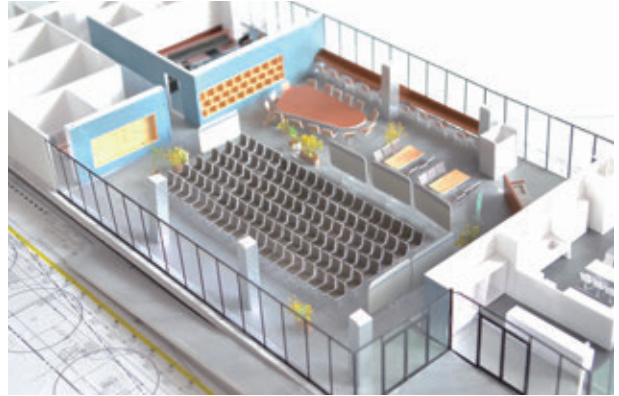


交流スペース

校友会館



展示スペース+ライブラリー



常任幹事会（120席）利用時



校友会事務局



校友ラウンジ



交流スペース全体



ライブラリー



キッチン

しげうら 卒業生の「今」

スキー部卒業生座談会：

インカレ総合優勝からオリンピック出場へ！ 一時代を築いたスキー部の栄光を語り合う

1960～1970年代、芝浦工業大学スキー部は多くのオリンピック選手を輩出した強豪校として、全国に名を馳せていました。オリンピック選手を含むスキー部卒業生4名の方が芝浦キャンパスに集い、当時の様子を振り返ります。



樋口 智美さん
建築学科 1963年卒業



小川 博司さん
工業経営学科 1970年卒業



佐々木 信孝さん
建築学科 1973年卒業



鈴木 謙二さん
工業経営学科 1973年卒業

●創部わずか5年で 学生1部リーグ3位に！

——半世紀以上昔のことですので、芝浦工業大学スキー部がどれほど強かったのか、今ではご存じない方も多いと思います。この機会に広く卒業生・在校生の皆さんに知っていただくために、卒業生4名に集まっていただきました。まずはスキー部の創設から強豪へと成長していった経緯を教えてくださいませんか？

樋口：スキー部の前身は1957年に小林毅さんが発足したスキー同好会です。翌年には大学からスキー部として認められ、全日本学生スキー連盟に加盟しました。私は1959年に入学しましたが、その年に初参加した大会で、複合種目の部員が活躍し、2部リーグで総合8位になりました。その後もアルペン、ジャンプ、複合、クロスカントリーの各種目にそれぞれ有力選手が加入し、1961年には全日本学生スキー選手権（以下、インカレ）で2部総合優勝。念願の1部に昇格することができました。

小川：スキー競技をご存じない方のためにご説明させていただくと、スキーには斜面を滑り降りる「アルペン」、長距離を走り抜く「クロスカントリー」、ジャンプ台を滑り降りて空中を飛ぶ「ジャンプ」、ジャンプとクロスカントリーの2種目の合計点を競う「ノ

ルディック複合」などの種目があります。さらに「アルペン」なら滑降・回転・大回転など、「ジャンプ」ならノーマルヒル・ラージヒルなどの細かな種目に分かれます。

鈴木：インカレで上位に入賞するためには、各種目で精度高く成績を上げる必要がありますよね。特にクロスカントリーなどは種目数も多いので、得点源となります。

樋口：その後、1963年にはインカレ1部の総合3位にまで食い込みました。当時は早稲田大学、明治大学、日本大学が強かったんですが、創部わずか5年でその一角を崩せたことは私たちの誇りです。

●自由で平等な雰囲気が 個の能力を育てワンチームに！

——なぜ、スキー部は急速に強くなれたのでしょうか？

樋口：大学がスキー部育成に力を入れたため、スキー強豪校から多くの有力選手が入学してくれました。スキーの有力大学で単科大学は珍しかったですし、工学部があることも当時の高校生に魅力的に見えたのではないのでしょうか。毎年のように種目に偏りな



佐々木さん、小川さん、樋口さん、鈴木さん(左から)

く選手が入部してくれて、2部に所属している当時から、「自分たちは1部を目指すんだ！」という空気がありましたね。今思うと、練習も信じられないぐらいの量をこなしていました。もともと同好会からスタートしたことも大きかったと思います。新しい部だから上下関係やしきたりが少なく、選手がみんな平等で、自由な雰囲気がありました。

鈴木：本当に樋口さんのおっしゃるとおりですよ。当時の高校・大学などのスポーツ界は軍事教練のような雰囲気が強く、上下関係の厳しいところが多かったですからね。その点、芝浦工大スキー部は個人を大切に、そこからワンチームを作っていく環境が整っていました。

樋口：新しい部活だからしがらみがほとんどない。自分たちで考えて、いろいろな練習方法やルールを採り入れていました。

鈴木：私は入部するとき、大学の校風や文化を先輩からの情報を聞いて、「芝浦工大なら個の力を出し切れる！」と思ったことを覚えていますよ。当時から欧米のナショナルチームのような文化を持つ、素晴らしい国際標準のチームでした。

佐々木：そもそもスポーツの起源は「遊び」ですからね。楽しくないと続かないですよ。スキーで体を動かすのも楽しかったし、練習の一環で仲間とサッカーをするのも楽しかった。

小川：僕は1966年に入学したんですが、合宿所が整備されてきたことも大きかったですね。朝から晩まで部員が寝食をともにし、トレーニングを積まないことには、とても優勝争いはできませんから。

鈴木：その合宿所でも1年生から4年生まで分け隔てがなかった。選手個人の能力を発揮するためにも、日常生活は重要です。

小川：それにしても学生時代の思い出というのは、社会に出て何十年たっても影響が残るものですね。一部校、二部校の枠をこえてインカレに出場したメンバーで集まる懇親会を毎年北海道で開催しています。当初は樋口さんが音頭を取り、早稲田、明治、芝浦と3大学で懇親会を行っていました。今では20校以上の大学が参加しているんですが、当時軍事教練のような合宿生活で練習をしていた大学は先輩、後輩の確執が残っていて、なかなか卒業生の

参加者が集まらず、芝浦工大がいちばん出席者が多かった（笑）。これぞ芝浦の結束力ですね。

●思い出深い1969年 インカレ1部総合優勝

——栄光のスキー部の歴史の中でも、小川さん、鈴木さん、佐々木さんが在籍されていた1966～1973年は国内大会はもちろん、オリンピックにも複数の選手を送り出した輝かしい時代だったとお聞きしています。その頃のエピソードを教えてくださいませんか？

小川：なんといっても1969年のインカレ1部総合優勝ですね。あのときの出来事はいまだに語り草です（笑）。青森県大鰐温泉で開かれた大会で、ここにいる鈴木くんとは今日は出席できなかった古川年正くんが回転種目で同タイム優勝したんです。あれで勢いがついて、総合優勝まで持って行けたんじゃないかな。

佐々木：2本滑って同タイムってあり得ないよね（笑）。

鈴木：インカレ史上初の同タイム優勝と知ったときはうれしかったですね。この快挙にアルペンチーフであった山田敏明さんを中心に全部員がたいへん喜んでくれたことを記憶しています。

小川：佐々木くんもノルディック複合で優勝しましたし。

佐々木：あれは番狂わせです（笑）。

小川：優勝は優勝だよ。まさか自分たちが総合優勝できるとは思っていなかったから、うれしかったですね（笑）。

鈴木：あの大会で印象的だったのは、欧米並みのアイスパーンのコースが初めて採用されたことでした。散水されてスケートリンクのようなコースコンディションでした。

小川：確かにとても印象的だったね。いわゆる「青ごおり」で、個人個人の技術がより問われる状態でした。僕たちは大会直前に合宿した場所がパウダースノーの北海道・ニセコだったから、ギャップが激しくて、選手はよく転倒していました（笑）。その中でも、芝浦工大スキー部はアルペン、ジャンプ、クロスカントリ、ノルディック複合と、幅広い種目で上位に食い込み、総合



樋口さんの在学当時の写真



1972年札幌オリンピックで五輪旗手を務める鈴木さん

優勝が決まりました。

鈴木：しかし、種目によって会場が異なっていたので、全員で喜びを分かち合えたのはずいぶん後になってからですね（笑）。

小川：しかも総合優勝が決まったのが、競技から数日たった後だったしね。というのも、クロスカントリーのリレー種目で他の有力大学の選手が出場選手の背中を押すという違反行為があって、スキー連盟理事会で「失格」と認定されたんです。その結果、我々が総合優勝になりました。この話もずっと語り草です。

●札幌オリンピックに 4名もの選手が出場

——オリンピック選手も複数輩出された時代でしたね。

小川：当時、すでに冬季オリンピックには我々の大先輩の野戸恒男さんが1964年インスブルック大会、1968年グルノーブル大会に出場されていました。野戸さんは1998年長野大会でアルペンスキーチームの部長で、ヘッドコーチが古川年正君でした。

樋口：古川君は2014年冬季五輪ソチ大会の副団長と2017年冬季アジア札幌大会日本選手団の団長として、活躍していましたね。

小川：1972年札幌大会には、ここにいる鈴木さんと佐々木くん、そして古川くん、柏木正義くんが出場しました。鈴木さんと佐々

木くんは全日本チームの合宿によく行っていたね。

佐々木：インカレ優勝後、トントン拍子で全日本チームに入れていただき、札幌大会の出場へとつながりました。

小川：鈴木くんは開会式で開催都市間の五輪旗引き継ぎ式の旗手も務めたよね。

鈴木：出身地の札幌で五輪旗手を務めて、本当に名誉に感じましたし、皆さまに感謝しています。

小川：一つのオリンピックに一大学から4名も選手を送り出したのは、歴史的なことではないでしょうか。今考えてもすごいことだと思います。

鈴木：当時はメジャースポーツで、今とは比較にならないぐらいスキーヤーが多くて、全国のスキーファンから「芝浦はすごい！」と賞賛されました。メディアも注目してくれましたね。

小川：スキー場で練習していると、周りの人たちがわざわざコースを空けてくれたよね。まるでスターになった気分でした（笑）。

●芝浦で、スキー部で 学んだこととは

——卒業後も長く各界で活躍されている皆さんですが、芝浦工大スキー部で学び、社会で役立ったことはありますか？

小川：たくさんありますよ。卒業した大学の名前は一生ついて回りますからね。ウチの孫なんて、「おじいちゃん、本当に芝浦工大を出てるの？」と聞いてくるほどです（笑）。私が就職した企業でも「芝工卒」はステータスでした。

樋口：今思い返しても、部活や合宿所で団体生活を経験できたことは大きかったですね。協調性やコミュニケーション力が育ち、社会にも飛び込みやすくなりました。そして、きつい練習に耐えた経験や4年間で培った体力は、仕事を一から頑張り抜く原動力になりました。

鈴木：卒業後はスポーツコーディネーターとして、スポーツの発



札幌オリンピック日本代表選手へ提供されたグッズ



佐々木さんの1972年札幌オリンピック参加時のゼッケンや当時の写真

展と普及活動を行いながらのスポーツ振興と社会貢献は私のライフワーク。その一環として、2030冬季札幌オリンピック・パラリンピックの招致活動もサポートしています。こうしてスポーツと社会のために長く活動できるのも、大学で培った人間力があるからだと思います。海外に行くとよくわかるんですが、芝浦工大の自由かつ平等にスポーツを楽しむ姿勢は世界標準でした。国際大会で海外のトップアスリートと話をしていると、その共通点でよく盛り上がりましたよ。

佐々木：社会で役立つことはみなさんとほぼ同じ考えです。僕自身は建築学科を卒業し、設計事務所に就職して長く技術職を続けました。高層ビルの建築現場へときどき行く機会がありましたが、高所恐怖症なもので足がすくみましたね（笑）。ジャンプ台から飛ぶのは平気なのに（笑）。不思議なもので、スキー板をつけていると怖くないんです（笑）。

——レジェンドの皆さんから在校生や若い世代にメッセージをお願いいたします。

樋口：若い方には「継続は力なり」という言葉をお送りしたいです。

鈴木：スポーツ精神は、誇りと感謝と責任です。学生の皆さんもこの理念を基に目標設定しながら、とにかく人と対話し、ぶつかってもいいですから自分の意見を伝えるべきです。私たちはそれが競技力の向上につながりました。

佐々木：確かに、僕の職場でも若い世代はもっとコミュニケーションしていいと思いますね。ぶつかってもいいから、人と接触してほしいですね。

小川：芝浦工大を卒業すると研究職や技術職に就く方が多いと思いますが、企業の経営を担う方ももっと出てきてほしいですね。ぜひ芝浦工大を卒業したことに自信と誇りを持って、人生を歩んでください。

スキー部の歴史概略

- 1964（昭和39）年～1972（昭和47）年
冬季オリンピック大会日本代表
アルペン種目
野戸恒男、柏木正義、古川年正、鈴木謙二
ノルディック
田中英一、佐々木信孝
- 1961（昭和36）年1月
全日本学生スキー選手権（2部）総合優勝
- 1969（昭和44）年1月
全日本学生スキー選手権（1部）総合優勝

【寄稿文】



野戸 恒男さん

土木工学科 1966年卒業

あのときの羽田空港。芝浦工業大学の応援団から激励を受け、羽田空港から見送られた。

1964年のオーストリア・インスブルック五輪出場のためだった。この年のヨーロッパ各地は雪不足。開催地のインスブルックでは、雪を集めて安全な滑走コースに仕上げるのに大変な作業。我々のチームも練習不足。前哨戦も回転の一大会と大回転の二大会だけの出場だった。滑降の大会はなし。五輪出場の備えには乏しい内容。

私の五輪出場のエントリーは、大回転と滑降の二種目。初めての海外大会で実績も少なく、どのくらいの成績をと、残す術もなし。自分の五輪は、唯々スタートのバーを切り、滑走し、ゴールすることが一つの望みにとどまった。次なる目標を早く決め、これからの国内大会での好成績。4年後の68年グルノーブル五輪を目指し、孤独に耐えて日々の練習が続けられた。学問やスポーツ。趣味であれ結果にこだわらず、納得のいくまでやり抜いてみてはどうだろう。



1964年のインスブルック五輪に出場のため、応援団に送られ羽田空港を出発する野戸さん



2019年まで野戸さんが指導にあっていた中国パラスキー五輪チーム

Shiba-jo プラチナネットワークご紹介

Shiba-jo プラチナネットワークとは

芝浦工業大学の女性卒業生、教職員、在学生でつくるネットワークです。

異業種 / 同業者交流としてご自身のキャリアに活かすもよし、ご自身の活動を紹介する場としてもよし、再就職のヒントを得る場所など、それぞれの立場で、メンバー同士がこのネットワークを活用しています。ぜひ、あなたの活用方法を見つけてください！

現在は、就職セミナーへの参加など女子学生への支援を中心として活動していますが、今後このネットワークを活用した活動を広げていきたいと考えています。一緒に中心となって進めて頂けるメンバー、活動におけるアドバイス頂ける方を募集中。

また、在学生支援としてセミナーなどに登壇頂ける方も募集しています。ぜひお気軽にお問い合わせください！

入会申込はこちらから
<https://goo.gl/bLzTAj>



Shiba-jo プラチナネットワーク会員数

| 種別 | 卒業生教員 | 卒業生職員 | 卒業生 | 学部生 | 教員 | 職員 | 計 |
|----|-------|-------|-----|-----|----|----|-----|
| 人数 | 1 | 4 | 82 | 103 | 25 | 18 | 237 |

2022年4月現在

芝浦工業大学男女共同参画推進室内 Shiba-jo プラチナネットワーク事務局

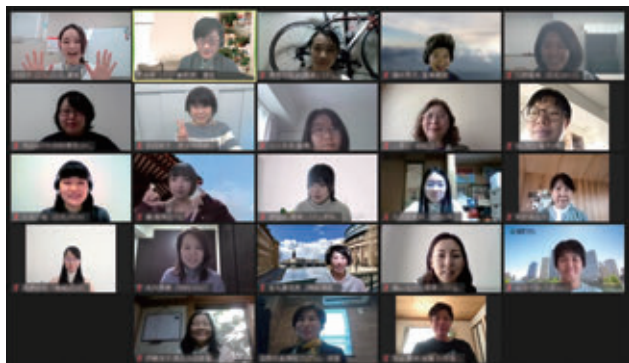
TEL : 048 (720) 6440

E-mail : desk-geuality@ow.shibaura-it.ac.jp

過去の活動の様子

■ Shiba-jo オンライン懇親会開催

2021年、Shiba-jo プラチナネットワークの懇親会としては初となるオンライン懇親会を開催しました。遠方に住んでいたたり、普段仕事や育児で参加がかなわない参加者にとっても、オンライン開催ならではの新たな懇親会のスタイルを確立しました。



■ 新入生との Zoom 女子会開催

2020年、新型コロナウイルスの影響で春のオリエンテーションなどのイベントはすべて中止となった女子新入生が学部学科の枠を越えて交流することを目的として Shiba-jo プラチナネットワーク主催の Zoom 女子会を開催しました。

■ 大学のオープンキャンパスに参加

2017年、Shiba-jo メンバーが受験生や保護者のアドバイス役として登壇しました。エンジニアとしてのこれまでの体験談や就職活動での心構えなどについて講演したほか、相談ブースにて、就職や大学院進学に関する相談の対応をしました。



芝浦工業大学体育会アメリカンフットボール部 NEERS 後援会会員募集中！！

私達は芝浦工業大学のアメフト部Fighting Engineers (通称NEERS)の応援を盛り上げ、学生がより良い環境で活動ができるよう支援することを目的としています！

NEERSってどんなチーム？

2008年に創部、関東学生アメリカンフットボール連盟に所属し、2021年度には**2部リーグ昇格**を果たしました！

理系大学でありながらも、学業だけでなく文武両道で、大学アメフトリーグトップで戦えるチームを目指しています！

2022年度アメフト部主将 橋爪俊樹よりご挨拶

日頃より多大なご支援、ご声援の程誠にありがとうございます。芝浦工業大学体育会アメリカンフットボール部主将の橋爪俊樹です。

昨年度はたくさんの方々の応援、サポートもありブロック優勝、2部昇格を達成することができました。日々皆様に支えられていることに感謝し、今年は1部昇格を目指して部員一同精進して参りますので、今シーズンもご支援ご声援の程よろしくお願い致します。



4年 橋爪俊樹



後援会発足の背景

アメフト部は防具代、体格作りのための食費代など、**金銭面での負担が大きい**

⇒ NEERS後援会で資金面の支援

また、地域のイベントやSNSでの情報発信も行い、皆様に対してアメフトやNEERSについて深く知ってもらえるよう活動しています。

後援会会員の条件は頑張る学生を支援・応援したい！その思いのみです！

皆様から頂いたお金は、アメフト部学生のために使わせて頂きます！

(例: プロテイン、間食、アメフト練習器具など)

会費: 月額 300円

NEERS後援会入会特典

- ①後援会限定HPの閲覧
 - ・学生へのインタビュー記事
 - ・アメフトコラム
 - ・Youtube動画の先行配信、限定配信
 - ・チームの近況をお知らせ
- ②安価での試合チケット購入
- ③お店を経営されている方等、後援会SNSでの宣伝も可能！

NEERS後援会へのお申し込みはこちらから⇒



お問い合わせ: NEERS後援会 佐藤みなみ

メールアドレス: neers.touchdown@gmail.com

ぜひ私達とともにNEERSを応援しませんか？
皆さまの応援お待ちしております！



ダットサン寄贈に寄せて

佐々木 徳治郎さん

(機械工学科 1965年卒業 全日本ダットサン会会長)

豊洲キャンパス本部棟竣工記念

ダットサン寄贈に寄せて：

自動車の素晴らしさ・
クルマ文化の奥深さを
後世に伝えたい



一時代を築いたクルマ・ ダットサンを寄贈

自動車とは工業製品の粋であり、1世紀前の大量生産開始以来、その普及と発展が社会に及ぼした影響は計り知れません。今般、ダットサン16型を母校に寄贈させていただいたのも、貴重なクルマ遺産をひとりでも多くの方に見ていただきたいという想いからです。ダットサンはかつて小型乗用車の代名詞ともされた車種。寄贈車はガソリン車の基礎の基礎ともいえる構造をしており、母校に展示していただけてこんなにうれしいことはありません。

私自身は地方の農家の出身で、子どもの頃は自動車を身近に見る機会がほとんどありませんでした。自動車を運転するなど夢のまた夢でしたが、芝浦工大に入学した1960年代には日本も本格的なマイカー時代を迎えており、「これからはクルマ社会。学ぶなら自動車工学だ!」と考え、運転免許もないのに自動車部に入部しました。入部後すぐ、大学近くの自動車教習所で免許を取得。部が保有していたダットサンで熟練の先輩から指導を受け、1週間の合宿へ。そこでダットサンで走っては修理することを繰り返し、技術を身につけていきました。当時の先輩の言葉で印象に残っているのが、「自動車整備は推理だ」。異音に気づくと車体に聴診器を当て、異常箇所を的確に察知する先輩の姿に、整備の楽しさ・奥深さを知りました。仲間とともに北海道や九州に遠征し、道中でエンジンを丸ごと入れ替えたこともいい思い出です。

2022年4月21日、竣工式が開かれた豊洲キャンパス本部棟。そこに9月から常設展示が予定されているダットサンセダン16型(1937年式)を寄贈するのが、卒業生で全日本ダットサン会会長の佐々木徳治郎さんです。長く自動車業界で活躍する佐々木さんに、クルマ文化への想いや大学時代の思い出を伺いました。





自動車部 北海道・九州遠征（遠征参加メンバー）

福川光男 1965年 機械工学科卒業

鹿島道路株式会社常務取締役など歴任。自動車性能実験のテストコース建設に貢献。

福井武温 1966年 電気工学科卒業

関電工株式会社で地下ケーブル敷設に貢献。

池上紘一 1966年 機械工学科卒業

電線加工にて社会貢献。

小野寺為宇三 1967年 機械工学科卒業

梱包業界にて社会貢献。

修理工場を経営して50年

大学時代の学びが活きる

卒業時には「将来は修理工場を経営したい」と考えるようになり、メーカーではなくインターンシップで研修させていただいた民間自動車整備工場に就職しました。修行のかたわら、二級整備士の資格や職業訓練指導員の免許を取得し、東京都自動車整備振興会の講師も兼任。このとき、大学で教員免許を取得していたことが大変役に立ちました。1972年には株式会社サファリモータースを設立。会社員時代から日産自動車の関係者の方々とおつきあいがあったため、役員車・広報車・展示車・コマーシャル車などの登録や整備などを任せていただき、現在に至っています。石原プロモーションの映画『栄光への5000キロ』やTVドラマ『西部警察』で扱う自動車の調達・登録・整備を担当するなど、時代を象徴する仕事も経験することができました。今ではクラシックカーも含めて約500台のメンテナンスを任せていただいています。

もちろん、会社経営は順風満帆なときばかりではなく、1973年の第一次オイルショックでは売上が9割減になる危機もありました。先行きに悩んでいたとき、社用車200台の整備を任せてくださる会社が現れたのですが、同時にエンジンオイルの廃油を利用したストープの耐久実験も受注。1年間社内で実験を続けてレポートを提出しました。このときも大学で学んだデータの取り方やレポートの書き方が大変役に立ち、「芝浦工大はまさに自分のための学校だった！」と感謝の気持ちでいっぱいになりました。



全日本ダットサン会の使命は

「1台でも多く動態保存すること」

社業のかたわら、1985年には全日本ダットサン会を設立し、全国のダットサン愛好者と交流を始めました。会発足の2年後、日本テレビから声をかけていただき、グレートアメリカンレースに参戦したことも印象的な出来事でした。グレートアメリカンレースとは、カリフォルニアからフロリダまで北米大陸を約6000km走破するもの。1936年以前登録のヒストリックカーでの参加が条件だったため、戦前のレースカー・ダットサンレーサーを復刻する必要がありました。ところが現物は全て戦争で焼けて残っておらず、当時の雑誌や図面を参考に、古いダットサン2台のフレームやサスペンションなどを有効活用しながら3か月かけて創り上げました。レースは12日間。アリゾナの砂漠で車がオーバーヒートし、ラジエーターから熱水が1mぐらい吹き上がったこともありました。靴底が溶けるほど灼熱の砂漠を経験すると、不思議なことに遠くにある水の匂いがわかるように。さらに毎日ゴールするたびに町を挙げての大パーティで現地の人々とクルマを通じて親睦を深めるなど、アメリカのクルマ文化の壮大さを知る、またとない経験ができました。

現在、ダットサン会には約260名の会員さんが在籍され、イベント参加や交流会の開催など親睦を深めています。うれしいことに父兄とともに参加される小中学生も増えており、旧車ファンの底上げにつながっていると実感します。ダットサン会、そして私の使命は「1台でも多くダットサンを動態保存すること」。ただ展示するだけでなく、動けるクルマを増やし、後世に残していきたい。クルマとはエンジンが動き、その音や振動を感じるだけでも人を感動させるものです。ひとつの時代を担ったダットサンを、今後は本部棟で工学を学ぶ学生の皆さんに見ていただき、貴重な機械遺産を感じていただければ幸いです。



グレートアメリカンレース参加の様子



寄贈予定のダットサン セダン16型（1937年式）



佐々木 徳治郎さん

機械工学科 1965年卒業
全日本ダットサン会会長

支部活動報告

北海道支部

支部長 小川 博司 工業学科 昭和45年卒業

校友会の皆様におかれましては、全国各地でいろいろな分野で御活躍の事と心からお喜び申し上げます。

世の中がコロナ禍で生活環境が大きく変わってしまったこの2年間でありました。

さて、私は令和3年より米澤 稔前支部長の後を引き継ぎ支部長を拝命しました。

北海道支部におきましてもコロナ禍で昨年の総会は開催出来ず、支部だよりによる書面での報告と言う残念な事となりました。

今年の支部総会を開催する事が可能かどうかは、3月上旬に判断できると思います。

ところで今、大学が学生駅伝に力を注いでいる事は皆さんもご承知の事と思います。関東の予選会でも年々成

績が上がってきております。

聞くところによりますと、駅伝部の寮が大宮校舎の敷地内に現在建設中で令和4年3月には入寮予定で、監督、コーチ等総勢60名余り収容出来る宿舎だそうです。

現在部員も30名余り、この4月には8名が推薦で入学するとの事です。

近い将来、箱根駅伝に芝浦工大のユニフォームが躍動する姿を見る事が出来ることを願ってやみません。

また、現在駅伝部に北海道出身の学生がおりません。個人的には北海道出身の駅伝選手が走っている事を夢見ております。

最後に校友会諸兄のご健勝と御活躍をお祈り申し上げます。



青森支部

支部長 木村 喜有 土木工学科 昭和44年卒業

昨年、一昨年とコロナウイルス感染拡大の影響で、校友会の支部活動は休止状態となりました。普段なかなか会員同士会う機会が少ない中、一年に一度の支部総会・懇親会で一堂に会することができないのは大変残念です。

ここで改めて青森支部のご紹介をいたします。

青森支部は現在160名程の会員が登録されており、毎年10月に支部総会・懇親会を開催（青森・八戸・弘前3市輪番）しております。他に北海道支部函館分会

との青函交流会、首都圏の大学OB会による13大学対抗ゴルフ大会への有志による参加、毎年ではありませんが、東北近隣支部との交流も行っています。何分参加者の高齢化が進んできており、若い方の新しい風を取り込みたいと切に願っております。

今年こそはウィズコロナの中でも、例年通りの支部活動に戻れるよう望んでおります。



岩手支部

支部長 遠藤 龍一 建築工学科 昭和50年卒業

長期にわたるコロナ禍の対応、校友会の皆様におかれましてはたいへん不自由な思いをされていることと存じます。

例年であれば、岩手支部総会は本部総会の報告を兼ねて6月下旬に開催しておりますが、昨年同様今年もコロナの関係で今年の開催は夏以降に様子を見ながら考えようということになりました。

9月に有志と連絡を取りながら開催の検討をした結果、少数の参加者となることが予想されるが今年も開催しようということになりました。

11月20日(土)岩手県情報交流センターで開催いたしました。入館の際の検温・アルコール消毒。会議室に入ってから検温・アルコール消毒・座席の間隔を開け、コロナ対策を万全にして開催しました。総会後の懇親会は有志により短時間ではありますが懇親会を今年も行いました。

寂しい今年度の支部総会でしたが、来年度こそはコロナも収束して多くの仲間が参加し大いに盛り上がる支部総会になることを期待して閉会しました。

追伸 支部活動は今年度何もしておりません。



秋田支部

支部長 池田 広志 建築工学科 昭和55年卒業

コロナウィルスが変異株として姿を変え次から次とまだ先が見えない状況ですが、全国の芝浦工業大学校友会の皆様いかがお過ごしでしょうか。罹患された方々がいらっしゃれば、心よりお見舞い申し上げます。

幸いここ秋田での感染者数は全国でも少ないところではございますが、だんだんと忍び寄ってきているような気がします。

このような中、当支部では定例総会の開催を延ばし、全国的にコロナが沈静化している時期を見計らって開催いたしました。校友会本部から来賓をお迎えし、母校のこの

一年の近況もお話の中から知ることができました。現役の学生たちの授業はオンライン中心となり、特に留学に影響が出ていると聞きました。心から学生たちに「負けるな、がんばれ」のエールを送りたいと思っております。今一度「コロナによる退学者をひとりも出さない。」ことを祈ります。今を乗り切ってこそ創立100周年に向けた躍進する母校の理想の姿が(?)あると思います。

全国の校友会の皆様、今こそ「絆」をより強く力を合わせお互いがんばりましょう。



宮城支部

支部長 杉崎 年英 土木工学科 昭和48年卒業

コロナ禍での支部活動

コロナまん延の中間会の開催もままならず、実質的な支部活動はお手上げ状態が2年続いております。

総会決議は郵送による議決を採用し、懇親会等の集会はすべて延期となる中で、清掃活動などの社会貢献活動や感染リスクの低いゴルフなどの野外活動を細々と実施してきました。会社などで4～5人以上が集まる会合・集会などを禁止しているケースが多く、それらの活動も残念ながら多くの人数を集めることも出来ない状態が続きました。

実質的な支部活動が制限されていることより、支部年会

費を3,000円から1,000円に値下げし徴収を行うなど、活動内容に見合った対策を講じるなど、どうすれば支部会員のご理解を得られるかに腐心しております。

支部活動の最大目標でもある会員同士の親睦を図る為に、今年度は芋煮会などの野外での活動や清掃活動などの社会貢献活動を検討しています。

添付した清掃活動の写真是、津波で被害を受けた「七ヶ浜町花淵浜」での清掃活動の写真です。震災以降ボランティアの方々毎週清掃活動を行っており復興に貢献しています。



山形支部

支部長 川越 進 土木工学科 昭和46年卒業

全国の支部の皆様も同様とは存じますが、コロナ禍により本年度も支部活動は休止状態となっております。

早く感染状況が収束し、密など気にせず普通の生活が取り戻せるようになる事を祈念しております。

支部会員の皆様との交流も約3年行っていない事になります。WEBなどによる総会開催も他支部では行われておりますが、当支部においては難しい状況です。早く皆様にお会いできることを楽しみにしております。

コロナ禍で人との繋がり的重要性が再認識されております。コロナ感染収束までの間、この機会に知り合いの同窓生の皆様に電話やメールでご連絡頂き、支部活動再

開時には多くの会員の皆様で集まることが出来るようになればと思います。ご協力よろしくお祈いします。

20代30代の若い方の参加もお待ちしております。山形支部目標は総会・分会合わせ30名参加です。

<山形支部のフェイスブック開設>

<https://www.facebook.com/shibaura.yamagata>

支部の活動案内や情報を発信していきます。

皆様是非ご覧ください。



福島支部

支部長 樋口 正人 電気工学科 昭和53年卒業

福島支部は、支部会員の「絆」を大切に、相互の親睦を深めることを目的とした支部です。

2021年度は、コロナにより対面による活動は制限されましたが、2つの事業（①大学への支援 ②会員拡大活動）を実施しました。そして、まもなく（③支部交流活動）を実施します。その内容についてご紹介して、2021年度の活動報告と致します。

リモート懇親会は、「芝浦食堂（ビーフカレー）」（募金返礼品）を食べながら、卒業アルバムの写真を見て思い出話をします。BGMは校歌や芝浦祭テーマソングを

流し、最後は「個人的カレー評価タイム」を設けます。画面には懐かしい昔の校舎や卒研風景が流れますが、リモート環境がない方の為に、電話による参加コーナーもあります。

支部会員には人生経験が豊富で、頼りになる諸先輩方が在籍しております。貴方の役に立つ情報もあるはず。過去の活動内容は、校友会のHPまたは、フェイスブックでご覧ください。

写真は、2019年の総会と復興勉強会後の懇親会の様子です。



栃木支部

支部長 池田 猛 土木工学科 昭和48年卒業

日頃から、栃木支部の活動につきまして、校友会本部からの格別なご援助・ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、令和3年度の栃木支部の活動ですが、昨年から続くコロナの感染症対策のため、例年実施していた支部総会・研修会の開催を始め、現場見学会やゴルフコンペ等の開催予定も立てられずに中止せざるを得ない状況となってしまいました。支部総会については、12月8日に幹事及び事務局を交えて検討を行い、昨年同様に書面

開催により12月から1月にかけて実施したところ。例年どおりの活動が再開できる日々が早く来てくれるのを願うばかりです。

今後とも会員の支部への参加、現役学生との交流・就職支援など栃木支部の活性化を目指すとともに、会員の輪を広げ、芝浦工業大学の発展に寄与していきたいと考えております。



R2(2020).8.18(火) 支部総会の開催手法を審議した「役員会」

茨城支部

支部長 増山 栄 建築学科 昭和47年卒業

茨城支部の活動に際して、芝浦工業大学校友会より格別のご高配を賜り感謝申し上げます。

今年度の茨城支部総会は、開催に向けて準備してきましたが、令和3年12月3日(金)にホテルテラスザガーデン水戸にて臨時役員会を開催し、現在のコロナ渦の状況を踏まえ、今年度の開催を中止としました。2年連続の開催中止となってしまう、皆様とお会いできる機会が減っていることを大変寂しく感じていると共に、早期の

コロナ収束を願うばかりです。

来年度は、3年ぶりの茨城支部総会を開催できることを願い、引き続き今後の支部活動の活性化の為に、会員の輪を広げ1人でも多くの方々の参加をお待ちしております。

最後になりましたが、芝浦工業大学の発展に尽力致しますので、何卒ご指導ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。



群馬支部

支部長 青木 豊治 機械工学科 昭和57年卒業

群馬支部活動に際しまして、校友会本部並びに東京、埼玉、茨城、神奈川、千葉、多摩、栃木の各支部からの、格別なご高配を賜り感謝申し上げます。

令和3年度の群馬支部総会はコロナ感染防止の観点から、書面による総会を3月に実施いたしました。

他の活動：6月の全国総会、8月に親睦ゴルフコンペ及び暑気払い、10月に工場見学や建築物見学会並びに懇親会は全て中止といたしました。幹事の会合をWeb開催5回、12月幹事会はハイブリッドで懇親を兼ねて実施、僅かではありますが校友の和が広がったと思います。

令和4年度 3月5日(土) 群馬支部総会を ①会場、②Web ③書面でのトリプル方式で開催しました。

久々に、支部校友会の幅広い年代の先輩・後輩の和が

図れることを楽しみにしております。

令和4年、様々な活動ができるかどうか分かりませんが、方法や手段を柔軟に考え1人でも多くの方々と交流の和を広げていきたいと思っております。

結びに、群馬支部では、毎年3月の第1土曜日に総会・懇親会を開催致します、例年40名以上の会員の皆様に出席していただいております。仕事の分野を超えて交流の輪を広げることを推進しております。群馬県出身者・在住者・群馬県で働いている方は、ぜひ一緒に交流いたしましょう!! 下記の支部ホームページよりFacebookアドレスへ行けますので、メッセージにて連絡ください。

多くの卒業生のご参加をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/shibauraob/>



埼玉支部

支部長 吉池 富士夫 金属工学科 昭和51年卒業

埼玉支部は域内に大宮キャンパスが存在するおかげで、大学とより密接な関係を築けます。私たちは校友会員に加え、在校生との積極的な繋がりも保ちながら、支部活動基本三指針「若い校友会員の参加を拡充」、「開かれた校友会を構築」、「社会貢献を目指す」に基づき運営しています。

コロナ禍での集会が自粛されているなか、現在の埼玉支部の礎を築いた 泉澤定雄 前支部長（昭和46年建築卒・校友会顧問）が令和3年11月14日に逝去されました。前述の三指針も泉澤前支部長をはじめ先輩方が定めたものです。この思いを継承し、さらなる校友会埼玉支部の発展に全力を尽くしていく所存です。

令和2～3年の支部行事は、コロナ禍により延期いたしました。例年、春夏に県内を“まちあるき”する会をはじめ、秋冬に大宮キャンパスを活用した支部総会の開催や父母者懇談会への参加など、多くの皆さんと共に活動をしています。

一日も早く再び顔を会わせて語り合える日が来るのを願っています。引き続き埼玉支部一同、埼玉に所縁のある校友の皆様の参加をお待ちしております。



千葉県支部

支部長 金井 昭三 機械工学第二学科 昭和41年卒業

千葉県支部は千葉駅周辺を活動拠点としていますが、最近では成田駅及び柏駅を拠点とした成田分会と柏分会も活動に加わり、県内に広域的な連携を深めています。現在会員数は180名です。2021年度総会は新型コロナウイルス感染拡大のため開催できませんでしたが、今年度総会はコロナ感染の状況を見ながら、秋には開催したいと思っています。

2022年度は下記課題に取り組み、会員相互の親睦を深め支部活動の活性化を図ります。

1. 会員の増員（校友会本部 HP や FB 等の SNS 活用による広報活動の強化）
2. 分会を「木更津・房総分会」・「船橋・市川分会」の2ヶ所増やす
3. 若い世代、女性、家族で参加できるイベントの開催
4. 親睦ゴルフコンペの開催（春4月、秋10月）

千葉県在住、県内企業にお勤めの方、千葉に所縁のある校友の皆様の参加をお待ちしております。



東京総支部

支部長 谷川 潮 機械工学第二学科 昭和45年卒業

令和3年度東京総支部総会は、昨年度同様新型コロナウイルス感染拡大の観点から豊洲キャンパスでの開催を取り止め、書面表決による議決と致しました。

令和2年、3年と2年続けて総会を開催出来ず、会員の皆様と顔を合わせて懇談する機会を作れなかった事を役員一同心苦しく思っております。

令和4年東京総支部総会は、コロナウィルスの終息を願い、本年度に完成となります新キャンパスを見学しながら、豊洲キャンパスに於いて総会・懇親会を開催したいと考えております。



多摩支部

支部長 中根 眞行 工業経営学科 昭和55年卒業

長引くコロナ禍で支部の皆さんともお会いする機会もなくメールでのやり取りだけがコミュニケーションの方法となっております。昨年度総会は200人の支部会員に書面を郵送し101人の皆さんに議決承認をして頂きました。対応された皆さんに感謝申し上げます。

多摩支部ではこの先の活動再開を目指し活動しております。まず近年7ヶ年の多摩地区卒業生640名に支部加入の案内をさせていただき、112名の皆さんから返信をいただき27名の方を新規会員に登録をさせていた

だきました。今後も地道に会員の増強を目指した活動を継続して行く予定です。又、会員の皆さんの協力を得ながら、今年度中にホームページの開設も実現してまいります。

最後に、今年度のイベントとして「長瀬船下り(案)」を計画しており、コロナ禍で楽しみが少なかったこの二年を挽回する年にすべく支部役員一同取り組んで参ります。



箱根予選会応援(立川イケア前)



西東京憩いの森公園でバーベキュー

神奈川支部

支部長 長井 義明 建築学科 昭和47年卒業

当支部の活動状況について、御報告させていただきます。9年前から会員相互の親睦を図る為に、「地引網」を開催しています。例年、4月中旬、午前中に開催しています。参加人数は、小学生以下50名、大人100名で計150名となります。前回は晴天に恵まれ、魚の種類も異なりますが、多く獲れました。役員一同の協力で、盛り上がりました。来年も皆様の参加をお待ちしています。

又、支部総会を「横浜キャスルホテル」で、毎年9月初旬に開催しています。前々回の講演では、恒例の1月2日の第94回箱根駅伝で、関東選抜学生連合チームの矢澤健太（神奈川県庁勤務）さんをお願いし、芝浦工業大学として、初参加（1区区間）のエピソードをお話し戴きました。今年の第96回も松川雅虎さんが（デザイン工学部2年生）復路を（10区間）力走した姿でテープを切るのを見て感動しました。3年前の矢澤健太さんが1区間を力走した矢澤健太さんの応援した時を思い出しました。若い人が講演をして頂いて大変良かったと言う意見が多くありました。参加者として、50数名の地元の校友会メンバーと、校友会本部、近隣都県支部、大学、後援会、から来賓の御臨席を賜り、大学の現状や校友会と後援会の報告等、有意義な御話しを戴きました。

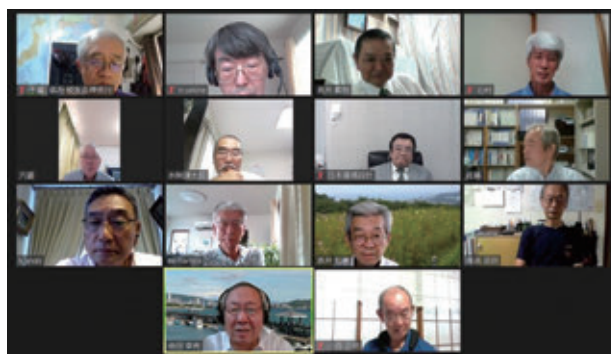
その後、懇親会では、毎年恒例になりました、卒業生の音一平さんにギターを演奏して戴きました。

校友同士の交流をして頂き、充実した時間を共有しました。

10月初旬、午前・午後と2回に分け、江の島で神奈川支部主催のセーリングを楽しみました。

午前中は、江の島から茅ヶ崎の烏帽子岩までと、午後は、江の島から葉山御用邸までのヨットでセーリングを楽しみました。参加者は、午前・午後で40名位いました。コロナウイルスが終息すれば、今後も開催する予定です。12月初旬には、箱根一乃湯で毎年恒例の幹事会・忘年会を開催しています。

神奈川支部は、海・山・温泉もあり、素晴らしい地域にあります。若い校友の参加を楽しみにしています。



新潟支部

支部長 臼井 静男 土木工学科 昭和48年卒業

新潟県は、下越地区・中越地区・上越地区と3地区に分かれています。北から南へと細長い形をしています。

校友会新潟支部総会は毎年10月第4土曜日に新潟市内のホテルで行われます。全県下より卒業生が集まります。本部校友会から電子工学科の本間先生が新潟県出身であることから来賓でお呼びして講演をお願いしています。総会后、懇親会は酒を酌み交わし大いに親睦を深め

ています。

県内3地区に於いても、その地区で校友会員でゴルフをしたり、忘年会を行い校友の和を広げています。

コロナ禍で2年間総会が出来ませんでした。令和4年はぜひ総会を行いたいと考えています。本学芝浦工業大学の増々の発展と隆盛を願っています。



長野支部

支部長 北村 武彦 建築学科 昭和45年卒業

コロナ禍により一堂に会する総会が実施できず、疎遠が今後の集いに影響がないことを願うばかりである。

支部事業が実施できず、予算未執行となり、必然として繰越金額が余剰となってきた。

通常の事業ができないのであれば、代替となる新たな事業に取り組む必要があり、令和4年度の総会（書面形式）に提案した議案が、「コロナ対策学生支援プロジェクト募金」への応募である。

支部会則の「目的」には、「大学・校友会の発展寄与、

後輩の育成」が掲げられており、校友会会員としての矜持をもって応える時とし、50万円を予算案とした。

これは総会参加者の総意をもって議決された。

別議案として、支部長及び分会長等の高齢化の現状に鑑み、この時節何が起こるか解らないため、支部の歴史的経過、会費徴収と会計状況、組織体制、諸課題などを承知する人員を増やしておく目的で、諸資料の作成とその配布を行った。加えて将来を想定した支部役員の体制整備を行った。



富山支部

支部長 福井 幸博 地域環境システム専攻 平成23年卒業

富山支部は創立44年目を迎え、登録会員数は約500名です。支部の最近の主な事業は、総会と親睦ゴルフ大会です。

令和3年度総会は、対面を重視していましたが、COVID-19流行拡大のため富山市内での会議ができないことから、異例ですがゴルフ大会後にゴルフ場で開催しました。ご来賓として大学幹部、及び校友会会長様にご臨席頂き、10名の参加者で開催し交流を深めました。ゴルフ大会では、首都圏にある理工系6大学の卒業生が平成元

年に始めた東京理工六大学OBゴルフ大会に第1回から毎年参加し、母校の名誉をかけ、熱戦を繰り広げています。我大学は、これまで団体優勝を6回しています。

支部の令和4年度事業は、富山県内校友の交流活性化、大学・校友会本部事業に参加するという方針のもと、地元や地域外の校友との広域ネットワークを構築することで、富山支部会員が豊かな人生を手に入れるように活動します。県内に在住の皆様には是非ご参加をお願いいたします。



石川支部

支部長 多田 哲則 建築学科 昭和54年卒業

昨年コロナ過で延期した支部創立 50 周年記念式典を山田学長、加藤校友会長、富山及び福井両支部長を来賓にお迎えし、11 月 20 日に無事開催することができました。

記念式典は感染予防の観点から校歌斉唱を控え、大学メンネルコールの素晴らしい校歌を静聴しながら各々の大学時代に思いを馳せる時間に代えました。また、創立及びその創成期に尽力された先輩方を功労者として表彰させていただきました。

記念式典に続き山田学長に「芝浦工業大学の現状と 2027 年 100 周年に向けた取り組み」と題した講演をしていただきました。

記念式典と学長講演を YouTube 配信したところその反響は大きく、「大学の躍進に感動した。」等々多くのメールや電話を頂きました。

コロナ過の中、開催に向けて力を合わせてくれた支部役員の皆様、お世話をお掛けした大学、校友会の皆様にご感謝申し上げます。



福井支部

支部長 永井 弘明 建築学科 昭和53年卒業

福井県支部はコロナの影響で令和3年度の事業が行えておりません。例年ですと総会、新年会、芝浦工大への受験促進のために県内の高校を訪問する活動も行っておりましたが、いずれも中止といたしました。会員は高齢化しており、皆さんがお元気で居られるか大変心配しております。そこでメールや SNS を用いて近況をお聞き出来るように検討しております。そのような中でも私自身は石川

の 50 周年式典に参加し学長にもご挨拶が出来ました。また福井富山県支部長の計らいで加藤会長ともお会いする機会を頂いております。

このような非常事態ではまずもって支部会員の感染防止を優先し、次に状況が好転した際に支部活動が再開できるよう備えることが重要と考えております。総会等で全国の皆様とお会いできることを楽しみにしております。



岐阜支部

支部長 平井 良樹 工業経営学科 昭和57年卒業

岐阜支部では、支部総会を毎年7月第3週土曜日に開催することにしてあります。現役多治見市長の古川氏をはじめとして、毎年20名前後の方にご参加いただいております。毎年少しずつ増えてきています。

支部総会は毎年、岐阜市で開催していますが、今後は飛騨市などでも支部総会を開き、さらに参加しやすい環境

を整えて行きたいと考えております。

信頼し合える仲間が集い、情報交換をし、友情を深めることにより、さらに有意義で充実した支部にしていきたいと考えておりますので、支部総会案内が届きましたら是非ご出席で返信していただきたく思います。

一人でも多くの参加をお待ちしております。



静岡県同窓会支部

支部長 鈴木 和幸 土木工学科 昭和50年卒業

令和3年度の支部総会を6月に開催予定していましたが、コロナの影響により2年連続で中止させていただきました。年1回の支部会員の皆様との懇親会が開催されなかったことは非常に残念であります。

例年6～7月に開催している支部総会を何とか開催する方向で検討しています。コロナの終息が見えきれない中、少しでも開催の可能性を探り計画の練り直しをしている最中ですが、例年会場となっていたクーポール会館もコロナに勝てず閉館となってしまいました。

その会場が、ワクチンの集団接種会場となっているの

は皮肉な話です。

今年は会場探しから四苦八苦しています。

令和元年度の第42回支部総会は7月6日に開催し、来賓7名と30名弱の会員が集まり、支部総会及び懇親会は盛況に行われ、恒例の講演会も、皆様の知識を深めたことと思います。

コロナに負けず支部活動を広報するため、支部のホームページを改訂しました。新しいアドレスは下記の通りです。一度覗きにきて下さい。

<http://sit-shizuoka.sub.jp/>



愛知支部

支部長 榊原 周造 建築工学科 昭和45年卒業

2021年（令和3年）度の愛知支部活動を報告させていただきます。

通常の支部活動は、本年度も実施する事が出来ませんでした。昨年同様に、2021年度愛知支部総会での審議案をメールにて配信して、役員承認をいただきました。

8月に校友会事務局から届いた校友会だより2021June Vol.26を役員の皆様全員に配布しました。

恒例の愛知支部芝浦会ゴルフコンペを開催しました。顔を直接会わせて実施した校友会の唯一の活動です。

(1) 2021年5月15日（土）第53回芝浦会ゴルフコンペ ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場、11名参加。



ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場
(2021.5.15)

(2) 2021年11月13日（土）第54回芝浦会ゴルフコンペ ワールドレイクゴルフ倶楽部、12名参加。2022年度も年2回の芝浦会ゴルフコンペを予定しています。

2022年（令和4年）度の他の活動予定は、今の所コロナ禍により未定です。新型コロナが収束しましたら通常の校友会活動を開始しますので、新会員や転勤等で県内に在住の方におかれましては是非声を掛けて下さい。

E-mail: info@garden-g.com 榊原まで、ご連絡よろしくお願ひ致します。



ワールドレイクゴルフ倶楽部
(2021.11.13)

岡山支部

支部長 沖本 光昭 通信工学科 昭和45年卒業

芝浦工業大学校友会の皆様、ご無沙汰しております。

岡山支部は、平成13年に旗揚げをしてより、今年で21年目を迎えます。会員数は、約250名を数えます。

令和2年夏、役員人事の改選で若返りを図り、さあこれからといった時に、新型コロナウイルスの感染が起きました。会員の高齢化もあり、総会・役員会の開催さえ厳しい状況となりました。

たとえば、支部総会・懇親会は、令和2年3月に開催出来たのが最後です。その時でさえ開催寸前に7名の参加辞退を受けながらの開催でした。

令和3年は、3月開催予定でしたが、新型コロナウイ

ルスの感染再拡大によって、やむなく開催中止とせざるを得ませんでした。

令和4年は、3月に17名の参加をもって、開催の予定でしたが、まん延防止重点措置法が施行され、同様に中止としました。まったくもって新型コロナウイルスに振り回された2年間でした。しかしこれからは、心機一転アフターコロナを見据えて、『持続性の高い校友会活動』を目標に進めていきたいと思ひます。

特に今は、是が非でも6～7月頃には、臨時総会・懇親会を開催し、多くの会員の集まりの中で、まずは親睦を深めたいと考えています。



広島支部

支部長 川本 勝一 建築工学科 昭和49年卒業

昨年、節目の第40回総会（出席者33名）は開催出来ましたが、総会後の懇親会は第39回に続き出来なく、同時に支部設立40周年式典も企画しておりましたがご多聞に漏れず取止めとなりました。コロナ感染状況によりますが、今年こそは100名の出席者のもとで総会・記念式典を盛会裏に開催する事を支部活動目標の一つに掲げております。

また、我が支部の伝統的な誇りはイベント活動であり、昨年度も釣り、囲碁並びにハイキング・登山はほぼ予定通り実施出来ましたが、ゴルフ、音楽バンドはコロナ禍



芝浦工業大学校友会広島支部第40回定期総会・二次会

で取止めざるを得なかったのは残念至極でした。

それと、今年度の事業計画は昨年度に続き、中長期支部イメージ＜多くの会員＆豊富な実績で存在感のある広島支部＞を掲げ、①「定期総会・懇親会に継続可能な出席者を獲得し、持続的成長可能な支部づくり」②「会が目的とする会員相互の親睦を図り、モチベーションを高める仕組みづくり」、サブテーマ「支部活動のPR」として、愛されるホームページ（<http://sit-koyu-hiroshima.com/>）づくりを目指しております。皆様も是非、ご高覧下さい。



広島支部イベント

山口支部

支部長 福田 隆行 土木工学科 昭和50年卒業

長引くコロナ禍の中、東京オリンピック、パラリンピックの感動に浸り、また続く北京冬季オリンピック、パラリンピックに期待を寄せるとき、突然のロシアによるウクライナ侵攻で多くの犠牲者が出ていることは痛恨の極みです。

一日も早い終結を祈るばかりです。

さて、山口支部は平成5年7月10日に発足し、今年で28年目を迎えます。現在の会員は71名です。毎年の活動は、総会に併せ会員相互の親睦を図るための親睦ゴルフと懇親会です。

昨年も11月13日の土曜日に快晴の山口レインボー

ヒルズ泉水原ゴルフクラブで親睦ゴルフコンペを行い、その後湯田温泉のセントコア山口において、総会と懇親会を開催しました。コロナが減少した時期ではありましたが、県内の会員に限定し、なお細心の注意を払い、静かな総会と懇親会としました。最後には小さな声で校歌を歌い、絆を深め楽しく会を終りました。

コロナが終息し、以前のように本部・大学から来賓をお迎えし、多くの会員と楽しい総会が開催できる日が来ることを楽しみにしています。



愛媛支部

支部長 児山 均 機械工学第二学科 昭和49年卒業

コロナ禍3年目、愛媛支部の支部長になって4年目、3年前の支部総会以来何も出来ていないので今年、愛媛支部だけでも秋ごろ小規模でも支部総会をしたいです。例年は5月に支部総会、8月にビアホール例会、年末年始に忘年会又は新年会をしていました。ゴルフもしています。校友会事務局より功労者表彰の推薦が来たので前支部長の高木二郎さんを推薦しました。

芝浦工業大学は2027年に創立100周年を迎えます。



あと5年。その時には、全国総会の参加を兼ねて豊洲校舎の見学ツアーに行きたいものです。出来れば大宮校舎も。芝浦校舎は昔の面影は全くありませんが、参加者を募集したいと思います。現在、支部総会に出席してくれる会員が減ってきているので愛媛支部に入会してくれる卒業生を募集します。支部長まで連絡をよろしく願います。



高知支部

支部長 依光 成元 建築工学科 昭和56年卒業

高知支部では、今年こそ対面での総会を開催したかったのですが、この時期にも県内において200人超の新規感染者が発生しており、幹事会で書面での開催を決定しました。ただ、総会時に行われる親睦ゴルフコンペは、ゴルフ場の予約が完了し熱心な先輩の要望もあり開催を予定しています。

昨年度は、殆ど校友会活動は行えませんでした。その様な折、県内某信用金庫のトップが芝浦工業大学出身との記事を新聞で見かけました。支部会員名簿に載ってお

らず、喜ばしい反面情報不足を痛感しました。昨今、プライバシー保護から名簿類への掲載に消極的な方が沢山おられます。「士業」においても自営でなければ開示しない風潮が見られ、このあたりがコミュニケーション不足となり、会員の増加を阻んでいるのではと考えております。

今年度は、いろいろと工夫しながら何とか校友会活動を行っていききたいと思います。

よろしく願います。



大分支部

支部長 平井 寛行 通信工学科 昭和52年卒業

令和4年の新年早々コロナ第6波が来ました。なかなか終息が見えない状況ですが今後どうなるのでしょうか。

昨年度も支部総会が開催できず校友会活動も休止状態です。その中ですが令和3年11月6日(土)に少人数での役員会を持ち事業報告と決算報告をして、承認をいただきました。前回報告した地元で活躍している卒業生にも会えないままですが今年はタイミングを見てお会いし、他にも名簿等を活用しながら会員拡張に努めたいと思います。

お知らせですが、大分県の大分空港が「宇宙港」(スペースポート)の1つに選ばれました。産業、観光、教育など様々な面で期待されます。この関係で芝浦工業大学の技術力が発揮出来ることがあるのではないかと期待するところであります。

今年度こそは、コロナが落ち着き全国総会が開催されることを祈念いたします。



福岡支部

支部長 角 敬之 工業化学科 昭和45年卒業

新型コロナウイルスの出現は福岡支部活動を大きく制限することとなった。

2020年2月2人の感染者が確認されて以降感染者は増加の一途を辿っている。

2020年6月開催予定の支部総会は会場を確保、準備を進めている中、小中高への春休み前倒しの実施も求められ、会場のキャンセル等に始まり支部活動はストップせざるを得ない状況に追い込まれてしまいました。

テレワーク、Web会議、リモート学習など社会は大きな変貌を遂げています。

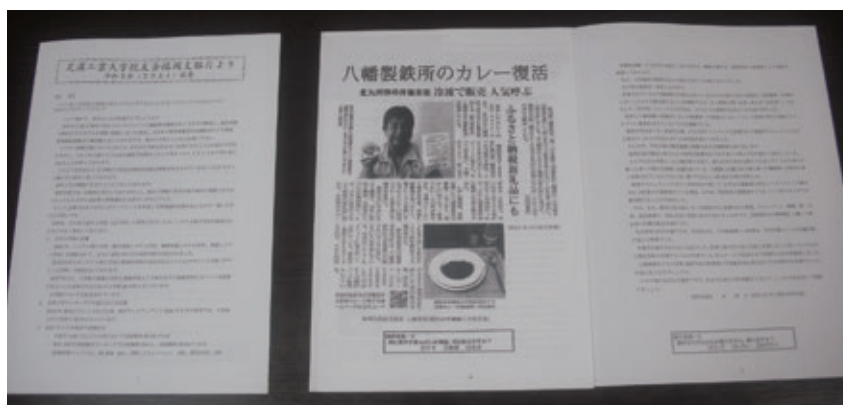
しかし、テレワークだ、リモートだと言っても校友会

活動はアナログ、対面活動が原則ではなからうか。

コロナ禍の現状を鑑みると2022年支部総会開催も危ぶまれる状況となっております。

支部活動としては、役員間での電話やメールでの情報交換を行なうことに限定されております

このような中、大学発行の「広報芝浦」や校友会本部からの情報を中心に正副支部長の近況を合わせた『芝浦工業大学校友会福岡支部便り』として纏めた紙面を作成して、昨年11月に会員宛に発行したことが2021年唯一の活動です



宮崎支部

支部長 長池 正恕 電子工学科 昭和50年卒業

日向灘や九州山脈に囲まれた宮崎県はアウトドアが盛んで、フィッシングやサーフィン、ゴルフ、キャンプなど豊かな自然を満喫できるのが魅力。ワーク・ライフ・バランスが見直されている昨今、都会からの移住者も増加しつつあります。会員数 29 名と小さな支部ではあり

ますが、温暖な気候に恵まれ元気に活動しています。毎年の定期総会時には、昼はゴルフ、夜は地元の焼酎を片手に海の幸や山の幸を堪能し、親睦を深めています。

会社の人事で異動される方や定年後に移住をされる方がいましたら、ぜひ入会をお願いします。



熊本支部

支部長 永田 昂生 土木学科 昭和42年卒業

最近の活動内容を報告させていただきます。

令和3年度も年度初めから新型コロナウイルス感染症が治まりそうになく、まん延防止等重点措置がたびたび発令されて校友会の活動もままならない状況でありました。その結果令和3年度は熊本支部定時総会をはじめその他の行事も中止にさせていただきました。定期的

に開催していた役員会は、小人数ではありますが辛うじて開催し12月は熊本支部の会計状況の確認を行っています。次年度に2年度分の報告を予定しています。

令和4年度は、熊本支部総会・懇親会が開催できることを祈念し、皆様に再会できます事を役員一同楽しみにしています。



佐賀支部

支部長 山田 清人 通信工学科 昭和48年卒業

お酒を酌み交わし、顔を合わせての情報交換の場であった「幹事会」もコロナ禍により、なかなか実施できない現状です。昨年はコロナも沈静化の兆しが見えましたが、年末からのオミクロン株の流行で支部活動は停滞。支部総会も2年連続で中止になっています。

新人の支部への加入がほとんどない中、これまで支部活動の中心となって導いて頂いた、伊藤元支部長や有馬

先輩の相次ぐ逝去があり、心に空洞ができたような感じでした。そのような状況の中、地元新聞に今春卒業する高校生の紹介がありました。進学先は「芝浦工業大学」。

この文字を見つけた時は、大変励まされました。

久しぶりに全国総会が開催され、皆様と再会できる事を楽しみにしております。



長崎支部

支部長 藤本 博文 工業化学科 昭和61年卒業

新型コロナウイルスの第6波ではまん延防止措置が全国規模で行われ、この長崎でも一日の陽性者が毎日のように過去最大を更新といったニュースが流れる事態となり、長崎支部の総会の企画さえもできない状況が続いてまいりました。

このような状況下でもありますので、長崎支部では昨年に引き続き総会以外での活動として、長崎支部が入るビルの入口に設置したモニターに校友会本部を通じて本

学より提供していただいたPR動画を流すとともに、上京した際に撮影した芝浦、豊洲キャンパスや都内の写真を使用したPRも行っております。

また、動画を流すにあたり、パソコンの起動等の自動化、デジタルサイネージソフトでの番組作製、小中高生の通学時間や休日の昼間に重点的に流れるようなスケジュール管理と、多くの方々に芝浦工業大学が周知されるように工夫しております。



動画再生中



ランタンフェスティバル

鹿児島支部

支部長 小藪 定夫 建築工学科 昭和48年卒業

支部長の小藪と申します。大方の支部もそうであろうと推察しますが、コロナ禍の為に会員相互対話の機会が取れ無いうちに、この2年間が過ぎております。

昨今、便利なツールとしてZoom等を活用しての対話手法も有りますが、やはり直に人と人（face to face）とが会って懇談することに勝るものは無いと考えております。

「校友会だより」は、新卒業生へも配布される予定と伺っております。卒業後に鹿児島の地で就労されるご予

定の方、当地にも数々の職域に先輩諸氏が従事しております。支部を絆に、新たに校友の場が広がることは必定です。加えて、是非ともフレッシュな息吹を鹿児島支部に注いでくだされば大変な喜びです。

例年20名程度が集う鹿児島支部の総会ですが、“人は石垣、人は城です！” 挙行出来るようになった暁には“熱烈歓迎”で貴君を紹介致します。校友会鹿児島支部(芝鹿会)宛てに、どうぞ御一報下さい。お待ちしております！



沖縄支部

支部長 仲西 聡 土木工学科 昭和56年卒業

穏やかな日ざしにいつしか春の訪れを感じる季節となり、校友会会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

校友会沖縄支部は、会員数が70名あまりで常時参加者は10～15名の小さな組織です。また本大学の新卒業生も沖縄地元の出身がほとんどいない状況ですので、会員の増加はなかなか見込めないのが現状です。

さて、沖縄県の近況は、全国と同様に新型コロナウイルス感染症の第6波は収束してきましたが、昨年同様に観光業、飲食業から関連業種においても大きな痛手を受けました。蔓延防止条例が解除となり再スタートした

ばかりですが、未だ感染者数は下げ止まりの状況で今後も不安を残しながらの営業となっております。

このような状況のため、一昨年同様、昨年の活動もすべて中止となりました。今年も未だに計画が立てられておりません。

下記の写真は、2019年6月の支部総会・懇親会で、「コミュニケーション大事！」と「参加して楽しい！」をキーワードのもと、ビーチで開催した時の模様です。

これからも色々工夫して沖縄支部の存続を維持していきたいと思っております。



上海支部

支部長 清武 亮祐 工業化学科 平成13年卒業

上海支部は2016年1月に設立し、7年目を迎えました。上海～蘇州を中心とした、中国華東地区在住のOB/OGで構成しており、定期的な活動を実施しております。

上海にはたくさんの校友会が存在していますが、SITは老若男女13名が在籍しており、それぞれがさまざまな業種で活躍しています。定期的な活動では、食事会、ゴルフコンペ（目標6回/年）、上海山形県人会と合同での「芋煮会」を行っており、和気あいあいと楽しんで

います。

2021年度には正式な支部旗が授与され、末長く支部旗を継承し続けたいと願っております。そのためすでに上海近郊へお住まいの方、これから駐在、移住される方がおられましたら、是非ご連絡頂ければと思います。

まだコロナ禍ではありますが、上海のSIT卒業生でどっくばらんに情報共有を行いながら、楽しい中国生活を送りましょう！



シンガポール支部

支部長 長尾 剛 建築工学科 昭和61年卒業

2013年12月に設立されたシンガポール支部は、今年で丸8年目を迎えました。

2021年は、1名の方がフィリピンへ異動、1名の方が日本から赴任され新しく会員となりました。2021年末時点で25名の方がシンガポール支部に在籍されています。

昨年の活動報告で、「2021年秋以降には会員の皆様が集まれる機会を設けることができると期待しております。」と書かせていただきましたが、今年度も、昨年度と同様、新型コロナウイルスの影響で、思うような支部の活動ができませんでした。

デルタ株からオミクロン株に置き換わり、シンガポール政府も経済活動をコロナ前の状況に戻すべく、これまでの規制を緩和する方向に舵を切っています。一方で市中感染は2022年3月現在で連日1万人を超え、我々の周りでも感染者が出ている状況で、会食はワクチン接種済みの人で最大5人までなどの制限は継続されています。

新型コロナウイルスが発生して丸2年経過しました。ウィズコロナの生活に慣れてはきましたが、以前のように会員の皆様と会食を楽しんだり、ボーリングで汗を流したりできる日が一日でも早く来ることを願っております。



< 2018年7月12日（木）Kallang Bowlで行ったボーリング大会 >

機械工学科同窓会支部

支部長 高木 光一 機械工学科 昭和48年卒業

本支部は、校友会唯一の学科同窓会支部として2012年に設立されました。

機械工学科同窓会としての活動は、昭和47年頃から定期総会を開催するなど、活動を進めてきました。昭和50年代からは、会員相互の親睦を図るとともに、芝浦工業大学機械工学科のよき伝統を傳承し、社会に貢献することを目的に、同窓会会報の発行、同窓会総会、幹事会、講演会、親睦会、懇親会などの事業を行っています。

2021年も引き続きコロナ禍にて、会報の発行を中止するなど主な活動を休止しました。支部総会は書面での

開催とし、約600名の同窓生へ議案書を送付、約160名から承認の返信はがきを受領、すべての議案が承認されました。

大学や在校生との交流も大切にしており、PBL（問題解決型学習）授業の発表会では、本田技研に勤務する同窓生による特別講演を実施しました。二輪車設計の実経験話を学生達は夢中で聴講したとのこと。毎年贈呈している卒業記念品は、今年も先生方のお手を借りて卒業生へ手渡しすることができました。



英交会支部

支部長 篠原 俊正 金属工学科 昭和54年卒業

英交会支部長の篠原です。

当支部の最大の特徴は、OBと現役の学生とが様々なイベントを通して有意義な交流を図っていることです。総会時に講演会を開催（講師は会員OBから選出）しておりますが、現役学生も部活動の一環として受講しています。社会で活躍する先輩諸氏の貴重な体験談を聴くことにより、社会人としての必要かつ重要な資質を学んでいます。学生からも好評で開催を楽しみにされています。

また現役と会員OBがプレゼンテーションや懇親会を

通して語り合い、情報交換する「交流会」も毎年開催することとなっています。さらに2月に開催される追い出しコンパには、役員全員が参加し卒業生に大きなエールを送っています。

2期前の総会において支部長を拝命した直後にコロナ禍を迎え、相次ぐ変異株の出現によって依然厳しい状況下にあります。コロナ禍を発想の転換期とプラスに捉え、英交会における「New Normal」を模索しつつ、校友会ならびに支部の発展に尽力してまいり所存です。



黒潮会支部

支部長 岡野 浩一 建築学科 昭和58年卒業

空手道部 OB 会黒潮会は平成 13 年 12 月に校友会支部臨時総会を開催により、平成 14 年度黒潮会支部としてスタートして今年で 21 年目を迎えます。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により学生はほとんど練習も行えない状況でした。しかし、11月に全日本理工科系大学空手道選手権大会が開催され出場できたことは誠に喜ばしいことでもあります。団体組手 3 位となり卒業生にとってはとても思い出に残る大会だったと思います。

黒潮会支部としても昨年と同様に 12 月 31 日、支部総会を議案郵送・議決ハガキにての回答という書面での

総会を開催いたしました。72 名の参加をいただき無事に終わることができました。地方在住の方や多くの諸先輩に参加いただき良かったと感じています。

今年こそ新型コロナウイルス感染症が収束し一国会する総会を開催し、現役学生との交流を図れることを願っています。

黒潮会支部として相互交流を図り一人でも多くの OB が集まる支部になるよう努力します。今後、尚一層の活動の場を広げ、校友会支部として校友会並びに母校の発展に寄与していきたいと存じます。



二部ワンダーフォーゲル部OB会支部

支部長 伊藤 孝夫 二部機械工学科 昭和51年卒業

今年も新型コロナウイルスの感染症の拡大に伴い、緊急事態宣言や蔓延防等重点処置宣言、その延期等により、予定していた OB 会総会も延期せざるを得なくなったため郵送にて総会を開催し、承認されました。

また、4月に予定していたキャンプ & フィッシング企画

も中止となり、毎月の定例会も対面では行いう事が出来ず、ズームによるウェブミーティングを行っています。新型コロナウイルスの終息を願い、今後も活動が続けて行きたいと思っています。



錬心会支部

支部長 飯島 敏春 機械工学科 昭和54年卒業

芝浦工業大学剣道部は創部61年、校友会錬心会支部として承認をいただいてから13年を迎えました。

剣道は年齢を問わず行える武道です。例年は学生と春夏の合宿や合同稽古にて共に汗を流しておりますが、コロナ禍の為対面稽古が困難な状態となっております。WEBミーティングやマンボウの合間を縫っての稽古など、できる限りの活動及び学生への支援を行っております。

令和3年度の支部総会は書面審査にて実施しました。

| | | | |
|------|-------|--------|---------|
| 支部長 | 飯島 敏春 | 機械工学科 | 昭和54年卒業 |
| 副支部長 | 筋野 豊司 | 機械Ⅱ学科 | 昭和56年卒業 |
| 副支部長 | 福本 宏昭 | 機械工学科 | 昭和56年卒業 |
| 幹事長 | 角田 隆二 | 土木工学科 | 昭和60年卒業 |
| 監査役 | 米山 則行 | 金属工学科 | 昭和47年卒業 |
| 監査役 | 新井 憲法 | 工業経営学科 | 昭和61年卒業 |
| 事務局長 | 島田 恭史 | 機械工学科 | 昭和59年卒業 |
| 事務局 | 増田 隆行 | 工業化学科 | 平成3年卒業 |



2021年09月19日関東学生剣道優勝大会



2022年03月05日 卒業生送別稽古会

柔道部OB会支部

支部長 早川 金光 建築学科 昭和51年卒業

一昨年に発生したコロナは学生達の大会にも大きい影響となりました。

工業系の大学だけで開催される『全日本理工科学生柔道優勝大会』、年に2回開催される『関東理工科四大学柔道対抗試合』は共に中止となりました。唯一開催されたのが『東京理工科学生柔道優勝大会』だけでした。

大会が開催され、試合に出場しないと自分達の實力がどこまで伸びたかわからないことはあります。それでも

部員数は男子及び女子共に決して多くはありませんが、限られた時間のなかで精一杯稽古に励んでおります。

柔道部OB会は、そんな学生達に新しい柔道着を寄贈する活動を行っております。

文武両道ではありませんが、学生時代の4年間に勉学と柔道に励み、社会に巣立つ柔道部員を柔道部OB会はこれからも支援していきます。



芝浦技術士会支部

支部長 鯨井 武 大学院修士課程電気工学専攻修了 昭和56年卒業

芝浦技術士会は、会員数 253 名を擁し、公益社団法人日本技術士会と連携する大学別の組織です。今年度も、コロナ禍の影響ですべての活動がウェブ会議方式で行われました。

現在の主な活動は、芝浦工業大学公開講座であります「技術士試験対策講座」並びに、一般公開もしている「技術士フォーラム」の開催です。芝浦技術士会は、講座を通じて受講者を支援すると同時に、講師と受講生のコ

ミュニケーションを通じ、生涯現役技術者への道を受講生と共に考えております。また、地域社会貢献として株式会社エスアイテックと連携し、大田工業連合会を通じて、ものづくり企業に対する「事業再構築補助金申請」等に関連する事業計画策定の支援も実施しています。芝浦技術士会は、芝浦工業大学と校友会会員の皆様方と一緒に一歩ずつ継続的に成長していくことを目指しています。



硬式野球部OB会支部

幹事 森本 静 工業経営学科 昭和50年卒業

2021年「硬式野球部OB会支部総会」は、昨年同様に新型コロナウイルス感染症拡大の各種イベントの自粛等が実施されており、大学の施設を借りる事も出来ないで集合しての開催は見送りました。開催方法は、大学評議委員会・校友会でも行われている書面開催。開催内容はOB夫々からご審議頂くのは大変な作業となるので、過去5年間にさかのぼり総会に出席された42名の方に参加を頂く事としました。また、42名以外での参加希望も募り実施。

結果、31名の方からのご審議を頂く事が出来、無事に総会が成立いたしました。書面開催ご協力頂いたOBの皆様には事務局として感謝申し上げます。

2022年11月に予定する「硬式野球部OB会支部総会」は、新型コロナウイルス感染症が解消され、一人でも多くのOBの方が総会会場に全国から集まる事を楽しみにしております。



ハンドボール部OB会支部

支部長 井出 恵尉 工業経営学科 昭和47年卒業

ハンドボール部OB会支部は発足8年になりました。2年連続で大変残念ではございますが、予定していた総会の開催をやむなく見送ることとなり、会員の皆様には郵送のみでのご連絡となりました。

現役の部活動ですが、昨年はリーグ戦は開催されましたが無観客試合ということでOBは応援に行くことができませんでした。また日常の練習や新入部員の勧誘もままならず、部の存続が危ぶまれる状態です。現在池田監督が高校生を調査・訪問していますが、情報が少なく選

手の獲得に至っていないのが現状です。高校生でハンドボール部に所属し、理系志望等の情報がありましたらお知らせいただければと思います。

今後の社会情勢がどうなるか不安要素もありますが、今年は10月に総会を実施する計画です。OBの皆様へは例年通り8月頃に総会のご案内を送付する予定です。

なお、転居等で案内を送ることができない方もいらっしゃると思いますので、同期の方にもお声掛けいただければ幸いです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



ソフトテニス部OB会支部

支部長 早川 昇 建築学科 昭和43年卒業

私共はソフトテニス部OBを主体とし、会員同士の親睦と在校生部員の援助を目的とした支部であります。会員には全日本選手権優勝者もおり、日本選手権を含め各地域の大会で会員が活躍しております。

また、その技術を在校生諸君へ伝えるために監督、コーチの派遣、用具の寄付などの援助も行っていました。過去2年間は会員同士の親睦を含め自粛を余儀なくされた次第であります。しかし、本年は活動再開の期待が

見え、その方法を模索しつつあります。

添付写真は、2019年、芝浦キャンパスでの総会写真ですが、このような会員同士の親睦在校生諸君との交流、援助が再度出来る日を改めて待ちたいと思います。

今後も支部及び校友会の発展に、寄与出来るかを模索してゆく所存であります。



ヨット部OB会支部

支部長 山本 淳介 建築工学科 平成6年卒業

体育会ヨット部OB会会長の山本でございます。

本年8月のOB総会（ネット開催）において前任の柴田氏にかわり新しくヨット部OB会会長に就任いたしました。今後ともよろしく願い申し上げます。

体育会ヨット部については創立58年、OB会会員総数は240名を数えております。

主な活動についてはOB間相互の親睦、また当然ですが現役学生部員の物心両面にわたる援護などヨット部全体の発展に寄与することを念頭に活動しております。

ヨット部の活動の性質上、これまで通常現役部員は活動拠点である江ノ島ヨットハーバー近くの合宿所に合宿をしながらの活動することが主でありましたが、2019年に端を発し現在も継続しておりますこのコロナ渦においての諸々の行動制限、活動制限によりその合宿ができていない状況であります。

現在の幹事が現役部員のなかで合宿生活を経験したことのある最後の世代となってしまっておりこれより下の代になりますと合宿の経験がなく、このコロナ渦のいち早い収束を願いヨット操船技術と合宿経験の継承ができることを望んでいるところであります。



スキー部OB会支部

支部長 小川 博司 工業経営学科 昭和45年卒業

全国の校友会の皆様、およそ二年半に至るコロナ騒動の中、どのようにお過ごしになっておりますでしょうか。

当スキー部OB会も令和元年、令和2年と二年間に亘り、総会を開催しておりませんので、今年こそはと思っております。

昨年の12月、大学の企画広報課より冬期北京オリンピックを機に1960～1970年代当スキー部の栄光時代を「広報芝浦」の機関誌に掲載する座談会を企画して頂き、改めて誌面を以て感謝とお礼を申し上げたいと思います。

全国のOB諸氏も懐かしい昔の思い出に私宛に多くの方々から電話を頂戴し、それぞれの想いを語られました。

学生時代青春を掛けたスキー競技からおよそ半世紀、皆「ジジィ」になってはいるものの生涯忘れる事がないそれぞれの自分の歴史として蘇った事でしょう。

大学も今は駅伝に力を注いでいます。

なんとしても箱根駅伝に出場し、芝浦のユニホームが躍動している姿を早く観たいと切に祈っています。

前述のようにコロナ禍で二年間総会を開催しておりませんが、今年は総会を開催したいものと思っております。

終わりになりますが、各支部の皆様、どうぞご健康で過ごされる事を祈念して止みません。



＜芝浦工業大学校友会 スキー部OB会支部総会スキー部創立60周年記念 平成30年7月14日 於 札幌第一ホテル＞



2019(令和1)年7月13日(土)芝浦工業大学校友会スキー部OB会支部 総会・懇親会

熱流体力学研究会支部

支部長 富山 博明 機械工学科 昭和57年

熱流体力学研究支部は、岡本史紀先生の流体力学研究室と角田和巳先生のエネルギー変換工学研究室の600名を超える卒業生で構成される2017年に設立した支部です。

支部の基本理念である①岡本研究室および角田研究室卒業生の親睦、②現役の角田研究室在校生の支援、を目的とした『先端技術フォーラム』では、卒業生による会社紹介・技術紹介・製品紹介、在校生による研究発表を支部総会と合わせて行っております。コロナ禍の本年度

は、初のZoomを併用したリモート会議を開催しました。新たに開設した熱流研チャンネルでのフォーラム風景の卒業生への配信や先生にもご参加いただいた定期リモート懇親会など、コロナ禍でも活発な活動によりご都合の付きにくい遠方の卒業生の皆様にもご参加いただいております。

今後も、支部の更なる発展、支部会員の親睦を深めるため、魅力的なイベントを開催していきたいと思っております。



ラグビー部OB会支部

支部長 山田 豊人 電気工 昭和54年卒業

ラグビー部OB会支部は、昨年同様コロナ禍により対面による総会が開催できず、書面による支部総会を予定しています。

一年を通じて支部としての活動は殆ど出来ず、現役メンバーのサポートが主な活動になっており、また社会貢献活動として、海底火山噴火による被害があったトンガ王国へ日本トンガ友好協会を通じ募金を行う予定です。

昨年春の理工系リーグでは練習が出来ず、出場を辞退

せざるを得ませんでした。が秋季リーグは4試合を行うことが出来ました。私も練習及び試合に立ち会い、5部4位という結果でシーズンを終えることが出来ました。写真は最終戦終了後の撮影です。今年は6人が卒業しますが全員一流企業への就職が内定しており4月からはOBとして私たちの仲間入りとなります。来年は感染状況が好転し、OB・現役が一堂に会し総会が開催できることを心より祈っています。



サッカー部OB会支部

支部長 福井 武和

機械工学科 平成21年卒業
機械工学専攻 平成23年修了

私たちサッカー部OB会支部は2019年12月に発足しました。支部承認される前の2014年からOB会として活動しており、メンバーは20代を中心として40代前半までいます。ほとんどが20代の若いメンバーのため、年に1度は大宮キャンパスのグラウンドに集まり、現役学生と試合を行っております。また、現役学生と部活動以外でも積極的に交流を図っており、サッカー部監督の仲介により、現役学生の希望就職先に勤めるOBが進路相談等も

行っております。

現在は、コロナ禍での活動制限の中、学業及び部活において現役学生は非常に苦勞しているかと存じます。私たちのOB会活動も思うようにできておりませんが、少しでも現役学生を支援するとともに、校友会の発展はもとより芝浦工業大学の発展の一端となれる存在になればと思っております。



弓道部OB会支部

支部長 森田 和雄

機械工学第二学科 昭和47年卒業

弓道部OB会支部はコロナ禍で活動休止状態でしたが、昨年11月にはOB一期生、昭和44年機械工学科卒下郡慎治監督（写真前列左から4人目）の長年の現役指導に対して功労賞を頂いたため、その祝賀会を開催しました。

また、本年3月からはコロナ蔓延防止も解除になったことから徐々に活動を再開することとなりました。

現在、監督変更に伴う委嘱願いが正木顧問から学長宛に提出されている状況ですが、4月からは弓道部5代目

新監督にOB4期生、昭和47年電気通信工学科卒の中場晃（写真前列左から2人目）が就任し現役指導にあたる予定となっております。新監督は初代大塚監督の学業と部活を両立し、弓道部を通じて人間形成を目指すという指導方針に基づき弓道部を指導して下さると思っています。今後も弓道部OB会は多数のOB・OGに参加して頂き、現役支援及び母校、校友会の発展に寄与してまいります。



アメリカンフットボール部OB OG会支部 支部長 高橋 和基

平成25年卒業

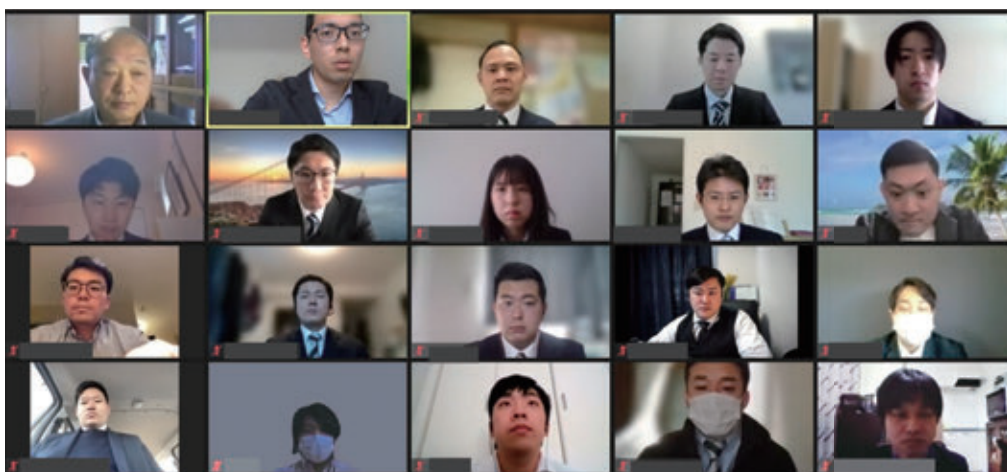
本会は「芝浦工業大学アメリカンフットボール部の現役学生の活動を支援しながら、当部に在籍した経験のある者同士の相互交流を図り、大学・校友会の発展に寄与する事」を目的として2009年に設立され、本年で13年目を迎えました。会員数は100名を越す組織となっており、昨年度より校友会支部として新規登録させていただいております。登録に向けて様々なご尽力いただいた関係者の皆様、本当にありがとうございました。

本会は現役への支援増強やOB OGへの情報サービス

の提供拡充、さらに現役保護者や大学関係者、地域の方々などの支援者獲得にも挑戦しています。

昨年度、現役学生がリーグ優勝、2部昇格を果たし、大学発展に寄与すると共に私たちにとって非常に嬉しいニュースでした！

今後も支援者へ多様な価値を提供し、大学の更なる発展、飛躍に貢献できる団体を目指して邁進します。引き続きのご支援の程、よろしくお願い致します。



川崎市役所支部

支部長 篠田 剛 機械工学科 平成元年卒業

川崎市役所支部は、役所内の芝浦工業大学卒業生で構成される校友会職域支部です。

現在約30名の会員で活動しております。

現在はコロナ禍で休止しておりますが、毎年、夏に支部総会を開催し、芝浦工業大学と校友会、更に神奈川県支部から来賓をお迎えして、学生時代の話や同窓生との共通の話題で学生時代を思い出すきっかけになっています。近年、20代～30代が中心となり、職場を超えて交流も増え活気のある懇談会を行っており、お互いの交流

を踏まえて、普段仕事では直接話さない先輩職員との人間関係の構築を含め、仕事へのアドバイスや学生時代の部活・サークル活動にと話が盛り上がります。また、新会員を歓迎する新年会では、お互いの近況を通して新たな出会いもあり、支部内の結束を強めており、今後も更なる会員の交流と親睦を図っていきたくと考えております。

最後に、芝浦工業大学の益々のご発展と、校友会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



竹中芝浦会支部

支部長 高野 直人 建築学科 昭和62年卒業

竹中芝浦会は竹中工務店およびグループ会社の芝浦工大卒業生、退社OB、OGで構成する交友会職域支部です。支部員数は現役世代約150名、OB、OGが約120名です。

当支部は平成14年度設立と歴史が浅く、過去に遡って卒業生把握を行いながらのスタートでした。支部活動は、年1回総会・新人歓迎を兼ねた懇親会を開催する事でグループ内の風通しを良くする事の2つを柱としています。

支部の会招集についてはここ2年超に及ぶ感染症拡

大で開催が難しい状況ですが、企業人の生活スタイル変革に合わせて支部活動は盛り上げたいと考えています。(写真は前々年度の集合写真です)

芝浦工大におかれましても新学部創設、グローバルな見地での変革など常に前進されています、企業におきましても日々精進を基本としています。学・産ともに発展していければと思います。芝浦工大ならびに芝浦工大校友会のご健勝を祈念致します。



フジタ芝浦会支部

支部長 重富 正昭 建築学科 昭和61年卒業

フジタ芝浦会支部長を務めさせていただいております。昭和61年建築学科卒業の重富正昭と申します。支部長歴も3年目に入りますが、これまで2年間の活動はほぼゼロ。今年度も初心を忘れず、支部長の責務を全うしたいと考えております。

昨年4月に1名の新入社員を迎え入れ、全国100名の支部会員で活動をスタートいたしました。しかしながら、先述のとおりコロナ禍の影響を受け、活動らしいこ

とは何もできなかったのが実状です。

春からは新しい仲間を2名加えて総勢102名の支部となります。コロナ禍の収束にはもうしばらく時間が掛かりそうですが、ニューノーマルでの活動を試みるなど、このまま支部がフェードアウトすることのないよう頑張っております。また、一年よろしく願いいたします。



不動産建設芝浦会

支部長 清水 修司 建築学科卒 昭和44年卒業

不動産建設芝浦会は平成26年に活動を開始した比較的新しい団体で、建設業や不動産業へご興味のある芝浦工業大学卒業生の方であれば、学部や学科は問わず入会できる団体です。

本会は、卒業生同士の交流を深め、お互いのビジネスでのつながりを作ることを趣旨とし、幅広い年齢、業種の方にご参加頂いております。これまでも、卒業生同士の交流から様々なビジネスチャンスが生まれています。また、若い方も多く参加しており、積極的に諸先輩方と意見交換しています。

交流会の開催場所は、芝浦キャンパスはもちろん、卒業生会員のご好意により飯田グループホールディングス(株)、(株)ニッテイライフ、(株)SD建築企画 研究所などの各会社様でも行っております。

ただ、長引くコロナ渦の影響により、総会等が開催できていませんでしたが、この度は感染者数の小康状態の

折に開催することができました。感染症対策を施した上での久々の会員同士の交流、そして(株)マリモコンサルティング代表取締役 根岸一英様(S56 建築)の講演など、一歩ずつ再起動を感じられるようになりました。

今後も感染者数の推移を鑑みながら、実際の会合またはオンライン開催など臨機応変に対応して、卒業生の方のビジネスをさらに活発にサポートできるよう努めて参ります。

開催日時は、毎月第3火曜日の18:30から開催しており、不動産や建設を中心に様々な情報交換を行っております。

また、今後は卒業生による、仕事に役立つセミナーや講演会も予定しています。不動産建設芝浦会は、新卒業生の方はもちろん、諸先輩方のご参加を心よりお待ちしております。



前田芝浦会支部

支部長 黒岩 貴志 土木工学科 昭和60年卒業

前田芝浦会は、前田建設工業株式会社・同関連会社に所属する芝浦卒業生で構成され、2018年度に登録された職域支部です。会員数は、現在86名でシニア層から新入社員までの幅広い年齢構成ですが、ここ10年ほどは新入社員が継続して多く入社していることから、35歳以下の会員が半数の43名を占める若くて元気なメンバー構成となっています。

2021年度は6名の新入社員を迎え、本来であれば例年以上の支部総会を開催したかったところですが、コ

ロナ禍により大規模な総会および懇親会は2年続けて断念せざるを得ませんでした。来年度は是非再び芝浦校舎にて開催できればと考えていますので、1日も早いコロナ終息を願うばかりです。

今後も年代・職種を超えた同窓交流の場としつつ、リクルート活動においても芝浦卒業生のつながりを活かして活動の活性化を図っていく所存です。引き続きよろしくお願ひ致します。



“支部旗” 全国にひるがえる

芝浦工業大学校友会は本年で設立 95 周年を迎えます。

校友会は、地域支部・海外支部・同好会支部・職域支部を合せると全国で 95 の支部数になり、卒業生は国内外のあらゆる地域、会社などで活躍しています。



平成30年全国総会で揚げた支部旗



支部旗

支部旗は、我ら同窓生の旗じるしであり、永遠に芝浦工業大学の卒業生としての誇りであります。

支部総会を連続 4 回開催し、各回 10 名以上の参加者があり、継続して開催されている支部に授与されます。

これから授与される支部のご健闘を祈ります。

芝浦工業大学校歌 CD の販売



「曲目」

1. 芝浦工業大学校歌
2. 応援歌
3. 校歌演奏
指揮：金 洪才
独唱：望月哲也
演奏：新日本フルハーモニー
交響楽団

「校歌」

作詞：北原白秋
作曲：山田耕作

● CD に関するお問い合わせ先

【芝浦工業大学校友会】

〒108-8548

東京都港区芝浦 3-9-14 芝浦工業大学内

TEL：03-5445-9634

FAX：03-5445-9635

e-mail：sitfriends@shibaura-koyu.jp

●振込先

郵便局：加入者名：芝浦工業大学校友会

口座番号：00160-5-9575

●代金

定価：2,000 円

校友会 常任幹事会 名簿

(役員を除く)

令和3年6月12日 現在
※原則、学部卒業年を表記常任幹事
中村 宏
土木工学科 昭和37年常任幹事・特別委員会
角野 和明
建築学科 昭和46年常任幹事
川本 勝一
建築学科 昭和49年常任幹事
永田 昂生
土木工学科 昭和42年常任幹事・組織委員会
辻村 建
建築学科 昭和46年常任幹事・事業委員会
斎藤 教男
建築学科 昭和49年常任幹事・財務委員会
浅野 昌宏
電子工学科 昭和44年常任幹事・組織委員会
前野 和博
工業経営学科 昭和46年常任幹事・
在校生就職支援委員会
神野 兼次
建築工学科 昭和49年常任幹事
木村 喜有
土木工学科 昭和44年常任幹事・特別委員会
井出 恵尉
工業経営学科 昭和47年常任幹事・事業委員会
森本 静
工業経営学科 昭和50年常任幹事
米澤 稔
建築学科 昭和44年常任幹事
住友 正樹
建築学科 昭和47年常任幹事・特別委員会
浅見 勝
建築学科 昭和51年常任幹事・組織委員会
小野瀬 等
通信工学科 昭和45年常任幹事・組織委員会
長井 義明
建築学科 昭和47年常任幹事
依田 幸秀
金属工学科 昭和51年常任幹事・総務・広報委員会
小平 和一郎
電子工学科 昭和45年常任幹事
増山 栄
建築学科 昭和47年常任幹事・組織委員会
犬塚 祥二
建築工学科 昭和54年常任幹事・例規委員会
谷川 潮
機械工学第二学科 昭和45年常任幹事・
在校生就職支援委員会
赤井 和憲
土木工学科 昭和47年常任幹事・組織委員会
関根 良
電気工学科 昭和54年常任幹事・組織委員会
橋本 雅夫
建築学科 昭和45年常任幹事・例規委員会
赤坂 邦雄
機械工学科 昭和48年常任幹事・事業委員会
山田 豊人
電気工学科 昭和54年常任幹事・事業委員会
植松 恵一
通信工学科 昭和46年常任幹事・総務・広報委員会
佐野 茂彰
機械工学科 昭和48年常任幹事・事業委員会
田村 稔
建築学科 昭和55年常任幹事・組織委員会
内田 武男
土木工学科 昭和46年常任幹事・事業委員会
高木 光一
機械工学科 昭和48年常任幹事・総務・広報委員会
中根 眞行
工業経営学科 昭和55年常任幹事・特別委員会
枝広 英俊
建築学科 昭和46年常任幹事
柏本 保
建築学科 昭和49年常任幹事・
在校生就職支援委員会
文倉 辰夫
電気工学科 昭和55年



常任幹事・特別委員会/選挙管理委員会
筋野 豊司
機械工学第二学科 昭和56年



常任幹事・例規委員会
本間 哲哉
電子工学科 昭和56年



常任幹事
平井 良樹
工業経営学科 昭和57年



常任幹事
片倉 隆幸
大学院工学研究科 昭和58年



常任幹事・組織委員会
角田 隆二
土木工学科 昭和59年



常任幹事・組織委員会
本村 雅洋
機械工学科 昭和59年



常任幹事・特別委員会/選挙管理委員長
佐々木 克則
電気工学科 昭和60年



常任幹事・例規委員会
三好 達朗
機械工学科 昭和60年



常任幹事・総務・広報委員会/選挙管理委員会
百瀬 和浩
建築工学科 昭和60年



常任幹事・財務委員会
渡辺 通宏
二部機械工学科 昭和60年



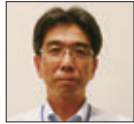
常任幹事・特別委員会
山田 サトシ
建築学科 昭和61年



常任幹事・在校生就職支援委員会
内山 毅
金属工学科 昭和62年



常任幹事・総務・広報委員会
藤田 利行
電気工学科 昭和62年



常任幹事・例規委員会
岩本 毅
建築工学科 昭和63年



常任幹事・事業委員会
田中 直彦
通信工学科 昭和63年



常任幹事・事業委員会
鶴 浩一郎
建築学科 昭和63年



常任幹事・事業委員会
村島 充裕
建築学科 昭和63年



常任幹事・総務・広報委員会
安藤 吉伸
機械工学科 平成1年



常任幹事・財務委員会
進木 正博
機械工学科 平成1年



常任幹事・特別委員会
福田 栄寿
機械工学第二学科 平成1年



常任幹事・財務委員会
苅谷 義治
金属工学科 平成2年



常任幹事・事業委員会
小宮山 由起江
土木工学科 平成2年



常任幹事・特別委員会
鈴木 洋
通信工学科 平成2年



常任幹事・例規委員会
齋藤 敦史
通信工学科 平成4年



常任幹事・事業委員会
長谷川 浩志
機械工学第二学科 平成4年



常任幹事・事業委員会
安田 俊司
機械工学第二学科 平成4年



常任幹事・財務委員会
野城 正人
工業経営学科 平成5年



常任幹事・例規委員会
山口 正樹
電子工学科 平成5年



常任幹事・特別委員会
安藤 毅
建築学科 平成7年



常任幹事・事業委員会
市川 拓
機械工学第二学科 平成8年



常任幹事・組織委員会
坂地 世紀
建築学科 平成8年



常任幹事・特別委員会
伊代田 岳史
土木工学科 平成9年



常任幹事・事業委員会
福井 浩二
工業化学科 平成10年



常任幹事・財務委員会
望月 秀晃
土木工学科 平成11年



常任幹事・事業委員会
吉川 伸也
機械工学科 平成11年



常任幹事・総務・広報委員会/選挙管理委員会
中川 雅史
土木工学科 平成12年



常任幹事・事業委員会
野元 明俊
二部電気工学科 平成12年



常任幹事・
在校生就職支援委員会
田口 智大
建築工学科 平成16年



常任幹事・総務・広報委員会
川野 亜希
応用化学科 平成23年



常任幹事・総務・広報委員会
今井 理裕
材料工学専攻 平成14年



常任幹事・総務・広報委員会
高橋 哲
二部電気設備学科 平成17年



常任幹事・総務・広報委員会
有泉 智貴
生命科学科 平成24年



常任幹事・財務委員会
中島 毅
材料工学科 平成14年



常任幹事・総務・広報委員会
島山 佳代
環境システム学科 平成17年



常任幹事・財務委員会
秋山 力洋
材料工学科 平成27年



常任幹事・事業委員会
奥田 耕一郎
環境システム学科 平成15年



常任幹事・財務委員会
西河 洋一
MOT 平成21年



常任幹事・特別委員会
増田 純一
材料工学科 平成28年



常任幹事・総務・
広報委員会/選挙管理委員会
滝下 勇
二部電気設備学科 平成16年

校友会 相談役・顧問 名簿

令和3年6月12日 現在



相談役
大丸 征史
電子工学科 昭和39年



顧問
田口 継道
建築学科 昭和39年



顧問
吉野 巖
機械工学科 昭和43年



相談役
金井 昭三
機械工学第二学科 昭和41年



顧問
今村 均
機械工学科 昭和40年



顧問
岩本 行雄
工業化学科 昭和44年



相談役
郡司 卓臣
機械工学科 昭和43年



顧問
岡本 泰明
機械工学科 昭和41年



顧問
渡辺 碩
建築学科 昭和45年



顧問
岡本 嘉行
建築学科 昭和34年



顧問
雲然 國幸
機械工学第二学科 昭和41年



顧問
泉澤 定雄
建築学科 昭和46年
(令和3年11月14日逝去)



顧問
滝澤 厚征
建築学科 昭和39年

校友会 支部及び支部長紹介

令和4年2月28日現在

| 支部名 | 支 部 長 | |
|--------|-------|----------------|
| | 氏 名 | 卒年・学科 |
| 北海道 | 小川博司 | 45・工業経営学科 |
| 青森 | 木村喜有 | 44・土木工学科 |
| 岩手 | 遠藤龍一 | 50・建築工学科 |
| 秋田 | 池田広志 | 55・建築工学科 |
| 宮城 | 杉崎年英 | 48・土木工学科 |
| 山形 | 川越進 | 46・土木工学科 |
| 福島 | 樋口正人 | 53・電気工学科 |
| 栃木 | 池田猛 | 48・土木工学科 |
| 茨城 | 増山栄 | 47・建築学科 |
| 群馬 | 青木豊治 | 57・機械工学 |
| 埼玉 | 吉池富士夫 | 51・金属工学科 |
| 千葉県 | 金井昭三 | 41・機械工学第二学科 |
| 東京総支部 | 谷川潮 | 45・機械工学第二学科 |
| 多摩 | 中根眞行 | 55・工業経営学科 |
| 神奈川 | 長井義明 | 47・建築学科 |
| 新潟 | 臼井静男 | 48・土木工学科 |
| 長野 | 北村武彦 | 45・建築学科 |
| 山梨 | 渡辺一郎 | 46・建築工学科 |
| 富山 | 福井幸博 | H23・地域環境システム専攻 |
| 石川 | 多田哲則 | 54・建築学科 |
| 福井 | 永井弘明 | 53・建築学科 |
| 岐阜 | 平井良樹 | 57・工業経営学科 |
| 静岡県同窓会 | 鈴木和幸 | 50・土木工学科 |
| 愛知 | 榊原周造 | 45・建築工学科 |
| 三重 | 谷水佐久也 | 50・電子工学科 |
| 関西 | 松岡英治 | 54・建築学科 |
| 鳥取 | 富本哲郎 | 40・電気工学科 |
| 岡山 | 沖本光昭 | 45・通信工学科 |
| 島根 | 浅野正教 | 45・建築学科 |
| 広島 | 川本勝一 | 49・建築学科 |
| 山口 | 福田隆行 | 50・土木工学科 |
| 香川 | 田岡哲也 | 57・金属工学科 |
| 徳島 | 佐藤幸好 | 50・建築工学科 |
| 愛媛 | 児山均 | 49・機械工学第二学科 |
| 高知 | 依光成元 | 56・建築工学科 |
| 大分 | 平井寛行 | 52・通信工学科 |
| 福岡 | 角敬之 | 45・工業化学科 |
| 宮崎 | 長池正恕 | 50・電子工学科 |
| 熊本 | 永田昂生 | 42・土木工学科 |
| 佐賀 | 山田清人 | 48・通信工学科 |
| 長崎 | 藤本博文 | 61・工業化学科 |
| 鹿児島 | 小園定夫 | 48・建築工学科 |
| 沖縄 | 仲西聰 | 56・土木工学科 |
| 韓国 | 金範得 | 19・土木工学科 |
| 台湾 | 陳祈龍 | H5・通信工学科 |
| タイ王国 | 野本利迪 | H2・建築工学専攻 |

| 支部名 | 支 部 長 | |
|------------------|-------|----------------|
| | 氏 名 | 卒年・学科 |
| 上海 | 清武亮祐 | H13・工業化学科 |
| シンガポール支部 | 長尾剛 | 61・建築工学科 |
| MOT同窓会 | 西河洋一 | H21・工学マネジメント専攻 |
| 機械工学科同窓会 | 高木光一 | 48・機械工学科 |
| よろく会 | 小寺貴士 | 46・通信工学科 |
| 緑会 | 井家良明 | 35・建築学科 |
| 英交會 | 篠原俊正 | 54・金属工学科 |
| 黒潮會 | 岡野浩一 | 58・建築学科 |
| 二部ワンダーフォーゲル部OB会 | 伊藤孝夫 | 51・二部機械工学科 |
| 錬心會 | 飯島敏春 | 54・機械工学科 |
| 柔道部OB会 | 早川金光 | 51・建築学科 |
| ギター部OB会 | 神野兼次 | 49・建築工学科 |
| 芝浦技術士会 | 鯨井武 | 56・電気工学専攻 |
| 硬式野球部OB会 | 前野和博 | 46・工業経営学科 |
| TBT(鳥人間)OB・OG同好会 | 安保知佳 | H27・通信工学科 |
| ハンドボール部OB会 | 井出恵尉 | 47・工業経営学科 |
| ソフトテニス部OB会 | 早川昇 | 44・建築学科 |
| ヨット部OB会 | 山本淳介 | H5・建築工学科 |
| スキー部OB会 | 小川博司 | 45・工業経営学科 |
| 熱流体力学研究会 | 富山博明 | 57・機械工学科 |
| ラグビー部OB会 | 山田豊人 | 54・電気工学科 |
| サッカー部OB会 | 福井武和 | H23・機械工学専攻 |
| 弓道部OB会 | 森田和雄 | 47・機械工学第二学科 |
| アメリカフットボール部OB会 | 高橋和基 | H26・機械工学科 |
| 奥村組芝浦会 | 坂地世紀 | H8・建築学科 |
| 神奈川県庁 | 宮本信也 | 59・土木工学科 |
| 川崎市役所 | 篠田剛 | H1・機械工学科 |
| 関電工芝浦会 | 井口昌之 | 62・建設工学専攻 |
| 京三 | 岩倉哲史 | 58・通信工学科 |
| 熊谷組芝浦会 | 宮澤守 | H3・建築学科 |
| 五洋建設芝浦会 | 柳沢純一 | 62・建築工学科 |
| 三芝會 | 土居和雅 | H5・建築学科 |
| 鹿芝會 | 増田孝弘 | 63・建築工学科 |
| 清水建設芝浦会 | 鈴木暁 | H9・建設工学専攻 |
| 住芝會 | 鈴木一巳 | H1・電気工学科 |
| 大成芝浦会 | 石久保猛 | H7・建築学科 |
| ダイダン | 関口秀行 | 63・建築工学科 |
| 大日本土木 | 長谷川勝己 | 56・土木工学科 |
| 高砂熱学工業 | 竹内祥貴 | 55・電気工学科 |
| 竹中芝浦会 | 高野直人 | 62・建築学科 |
| 戸田建設芝浦会 | 古越仁 | 55・電気工学科 |
| 日比谷芝浦会 | 岡本正仁 | 45・建築学科 |
| フジタ芝浦会 | 重富正昭 | 61・建築学科 |
| 芝友會 | 中村信夫 | 43・電気工学科 |
| 不動産建設芝浦会 | 清水修司 | 44・建築学科 |
| 前田芝浦会 | 黒岩貴志 | 60・土木工学科 |

卒業生の皆様へ

公開講座のお知らせ

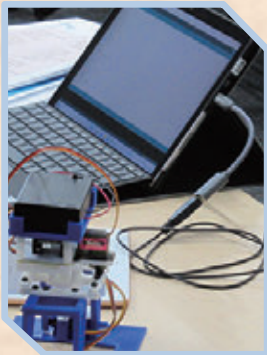
芝浦工業大学では、本学の教育・研究成果を地域社会に還元し、また学びの場を提供することを目的として、公開講座を実施しています。卒業生の皆さまも学んでみませんか。

対面とオンラインで開催します。
地方や海外からもぜひご参加ください！



生涯学習で「学ぶ楽しさ」

一般の方向けの講座、技術士講座をキャンパスやオンラインで学ぶことができます。
理科や科学を楽しく学べる、子供向け体験講座もあります！



▲ プログラミング講座も開催！



▲ 第一線の芝浦工大の先生が
分かりやすくレクチャー！



▲ 新校舎を見学する講座も
開催予定！



▲ 芝浦工大生が教えてくれる
楽しい子供向け講座！

・大学ホームページ、またはQRコードからお申込みください。
<https://extension-programs.shibaura-it.ac.jp/>

・お問い合わせ：芝浦工業大学 地域連携・生涯学習センター
TEL：03(5859)7120 E-mail:rcells@ow.shibaura-it.ac.jp

お申込みはこちらから！



資格取得講座のご案内

芝浦工業大学校友会では、「日建学院」および「総合資格学院」と提携し、資格取得講座への紹介を行っています。校友会を通して受講申し込みをすると、通常価格より安く受講 できますので是非ご利用ください。

日建学院

卒業生の皆さまへ 資格取得講座の御案内

芝浦工業大学校友会では、日建学院と提携し資格取得講座への紹介を行っております。
校友会を通して日建学院の講座にお申し込みいただくと、**芝浦工業大学校友会特別学費**にて受講することが可能です。
日建学院の映像講義は文章では伝えづらい内容も実写映像、コンピュータグラフィック、アニメーションなど理解するために最適な表現で映像化し、各分野のカリスマ講師が全受講生に最高の講義を提供しています。
Web 講座、通学講座をご用意し、ライフスタイルに合わせた学習方法を選択することができます。
ぜひ、ご活用ください。

| ご提供講座 | 【一般学費（税込）】 | 【校友会特別学費（税込）】 |
|---------------------------|------------|---------------|
| 1級建築士学科理論 Web 講座（WEB コース） | 330,000 円 | ▶ 165,000 円 |
| 2級建築士学科理論 Web 講座（WEB コース） | 330,000 円 | ▶ 156,200 円 |
| 宅地建物取引士重点 Web 講座（WEB コース） | 110,000 円 | ▶ 88,000 円 |
| 1級建築士 学科本科講座（通学コース） | 770,000 円 | ▶ 695,200 円 |
| 1級建築施工管理技士一次講座（通学コース） | 308,000 円 | ▶ 256,300 円 |
| BIM 入門講座（WEB コース）（スキルアップ） | 11,000 円 | ▶ 6,600 円 |

お申し込みについて
芝浦工業大学校友会 HP よりお申し込みください。



お問い合わせ 芝浦工業大学 校友会 事務局 〒108-8548 東京都港区芝浦 3-9-1 芝浦工業大学内
TEL: 03-5445-9634 FAX: 03-5445-9635 E-mail: sitfriends@shibaura-koyu.jp

総合資格学院

卒業生の皆様へ 資格取得講座のご案内

この度、**建設系資格スクールの総合資格学院**は、芝浦工業大学校友会と提携させていただくことになりました。これにより、校友会を通じて総合資格学院の講座へとお申し込みいただくと、**通常受講料が提携割引による特別受講料にて受講**できますので是非ご利用ください。

総合資格学院は1級建築士試験合格実績「日本一」の資格スクールです。その優れた実績を挙げ続けている講座では不明点をその場で解消できるライブ講義を展開。合格実績No.1の指導ノウハウで知識を確実に定着させ、本試験で活きる得点力を養成します。「最短で」合格を実現されたい方は積極的な講座利用をご検討ください。



| 提供講座（一部） | 受験年度 | | |
|-------------------|------|----------------|------------------|
| 1級建築士ストレート合格必勝コース | R5 | 1,518,000円(税込) | ▶ 1,452,000円(税込) |
| 1級建築士学科合格必勝コース | R5 | 1,067,000円(税込) | ▶ 1,023,000円(税込) |
| 2級建築士ストレート合格必勝コース | R5 | 968,000円(税込) | ▶ 924,000円(税込) |
| 2級建築士学科合格必勝コース | R5 | 671,000円(税込) | ▶ 627,000円(税込) |
| 構造設計1級建築士合格必勝コース | R4 | 968,000円(税込) | ▶ 924,000円(税込) |
| 設備設計1級建築士合格必勝コース | R4 | 935,000円(税込) | ▶ 891,000円(税込) |
| 建築設備士ストレート合格必勝コース | R4 | 660,000円(税込) | ▶ 627,000円(税込) |
| 宅建/パーフェクト合格必勝コース | R4 | 407,000円(税込) | ▶ 264,000円(税込) |

講座の詳細は校友会HPまたは総合資格学院HPをご確認ください。

申込方法

校友会HP
申込フォームより



http://www.shibaura-koyu.jp/sk/index2.php#form

お問い合わせ

芝浦工業大学校友会 事務局
総合資格学院 上野校

TEL.03-5445-9634
TEL.03-3832-7201

校友会本部事務局紹介

事務局長 渡辺 通宏

令和4年4月1日より校友会事務局長に就任しました渡辺通宏です。

私は、昭和48年に工業高校に入学、同51年に校名変更した付属第一高校を卒業、同年、二部機械工学科に入学、同時に東京都庁に就職し、勤労学生として学びました。

当時の二部は5年制でしたが、芝浦が大好きで、高校・大学と16歳から27歳まで12年間、田町の芝浦校舎に通い続けました。

多くの皆様に校友会の活動にご参加いただけるよう、がんばりますので、ご支援ご協力をお願いします。

宮坂 文枝・中瀬古 幸子

校友会事務局の宮坂、中瀬古と申します。平素より校友会運営に格別のご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルスによる影響で大変な状況ではございますが、校友会の皆様はじめご一同様はお変わりなくお過ごしでしょうか。

校友会運営に関して、私どもで何かお役に立てることがございましたら、最大限サポートさせていただきますので遠慮なくお申し付けください。

最後に、今秋に豊洲キャンパスへ引っ越します。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。

今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

依田 幸秀

2021年度校友会活動にご尽力いただきありがとうございます。事務局運営にご協力を賜り厚く御礼致します。

また、事務局長として3年半の間、楽しく仕事をさせていただきましたことに感謝申し上げます。今後とも校友会の発展に協力して行きますので、宜しくお願いいたします。



宮坂さん（左）、依田さん（中央）、中瀬古さん（右）



渡辺事務局長

SHIBAURA ORIGINAL GOODS

● 生協でオリジナルグッズ販売中です！

芝浦工大の校章とスクールカラーの新緑をモチーフとしたオリジナルグッズが販売されています。芝浦工業大学返礼品付寄付商品の取り扱いなども増え、ラインナップも豊富です。



豊洲キャンパス生協の販売コーナー



湯呑み 713円

マグカップ 820円

タンブラー 1,400円

コーヒー 160円

ボールペン 102円
シャープペン 102円
クリアフォルダ（大学名入り） 133円
クリアフォルダ（校歌入り） 133円
スカーフ 5,000円
ネクタイ 5,000円（キーホルダー付き）

● 芝浦工業大学返礼品付寄付商品でも人気！



オペラグラス 1,600円

ポロシャツ 2,090円

芝浦食堂カレー 680円



マフラータオル 1,620円

豊洲キャンパス生協、大宮キャンパス生協にて販売しています。ぜひお買い求めください。

お問い合わせ先：03-5859-7900（豊洲キャンパス）
048-720-5271（大宮キャンパス）

在校生就職支援ご協力のお願い

かねてより各支部から芝浦工業大学の学生が自社にほしいとのご要望を頂いておりました。それを受け、校友会執行部に「在校生就職支援委員会」を設置し就職支援活動を実施しております。芝浦工大は就職率が高い大学ですが、就職率100%にはまだ至っておりません。全国卒業生の関連企業の皆様に、求人のご協力をお願い申し上げます。12月以降の採用もご検討いただけるような、中小問わず企業の校友の皆様へご協力をお願い申し上げます。

- 1、校友会ホームページから「求人申込書」をダウンロード、記入
- 2、校友会事務局へ提出
- 3、校友会事務局が大学の就職担当者へ提出
- 4、学生の希望があった場合、校友会事務局から企業担当者へ連絡
- 5、学生と企業で出願、選考
- 6、結果を校友会事務局へ連絡

即希望に添えるとは限りませんが、広く学生にPRをしたいと考えております。何卒ご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

求人申込書： <http://www.shibaura-koyu.jp/renraku/info.php?id=78>
送付先： 〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14 芝浦工業大学内
E-mail： sitfriends@shibaura-koyu.jp
Tel： (03) 5445-9634 Fax： (03) 5445-9635

編集者・協力者 一覧

順不同、敬称略

◆編集者

芝浦工業大学校友会 総務広報委員会

| | |
|----------------------|------------------------|
| 吉池富士夫（昭和51年 金属工学科卒） | 中川 雅史（平成12年 土木工学科卒） |
| 林田 和雄（昭和52年 建築学科卒） | 今井 理裕（平成14年 材料工学専攻卒） |
| 小平和一郎（昭和45年 電子工学科卒） | 滝下 勇（平成16年 二部電気設備学科卒） |
| 佐野 茂彰（昭和48年 機械工学科卒） | 高橋 哲（平成17年 二部電気設備学科卒） |
| 中根 眞行（昭和55年 工業経営学科卒） | 畠山 佳代（平成17年 環境システム学科卒） |
| 百瀬 和浩（昭和60年 建築工学科卒） | 川野 亜希（平成23年 応用化学科卒） |
| 藤田 利行（昭和62年 電気工学科卒） | 有泉 智貴（平成24年 生命科学科卒） |
| 安藤 吉伸（平成1年 機械工学科卒） | |

校友会本部事務局

| | |
|-----------------------|-------|
| 渡辺 通宏（昭和60年 二部機械工学科卒） | 宮坂 文枝 |
| 依田 幸秀（昭和51年 金属工学科卒） | 中瀬古幸子 |

| | | |
|---|--|---|
| <p>いい仕事には、体温がある。</p>  <p>取締役会長 小川 達生 (昭和51年 通信卒)</p> <p>株式会社 日新コンピュータシステム</p> <p>〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3 TEL 03-5802-0321 FAX 03-5802-0322 URL https://www.nisin.co.jp/</p> |  <p>夢工房 陽だまりの家</p> <p>株式会社 岡野工務店</p> <p>代表取締役 岡野浩一 (S58建築卒)</p> | <p>人、街、社会、地球に優しい空間づくり</p> <p>総合ビルメンテナンス 清掃業務、設備管理業務、警備業務 マンション管理業務、客室整備業務</p> <p>株式会社 ハリマビステム</p> <p>代表取締役社長 鴻 義久 (昭和47年 土木工卒)</p> <p>[本社] 〒220-8116 横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー16階 TEL:045(224)3550 FAX:045(224)3551</p>    |
| <p>絆を大切に 経営コンサルタント</p> <p>代表 CEO 吉池 富士夫 YOSHI-IKE Fujio</p> <p>株式会社吉池事務所 Office YOSHI-IKE Corp. Mobile: 090-7955-6664 E-mail: yoshiikef1@gmail.com</p> <p>TOMORROW CREATE CONSULTING</p> <p>校友会副会長 埼玉支部長 昭和 51 年 金属工学科卒</p> | <p>確かな技術と信頼の施工</p> <p>株式会社 豊 蔵 組</p> <p>会長 豊蔵 世紀</p> <p>本社 〒920-0867 石川県金沢市長土塚3丁目13番8号 TEL (076) 263-2231 (代) FAX (076) 261-0464</p> | <p>造園会社です お困りの方はご相談ください</p> <p> 株式会社 アカネ 代表取締役 金子 和平 (昭和44年 経営工学科卒)</p> <p>造園工事部門、メンテナンス・指定管理部門、調査・企画部門、就労支援部門</p> <p>〒105-0012 東京都港区芝大門一丁目3番15号 TEL:03-5473-9344 FAX:03-5473-9345</p> <p>https://akane-green.co.jp/</p>  |
| <p> We'll support your Life</p> <p>釜井建設マネジメント株式会社</p> <p>代表取締役 釜井 重一 (昭和55年建築学科卒)</p> <p>〒321-0966 栃木県宇都宮市今泉4-16-23 電話:028-621-0015 携帯:090-4371-8891 E-Mail:shigekazu_kamai@yahoo.co.jp</p> | <p>世界が求める 「セラミックス原料」 「ファインセラミックス製品」</p> <p> 大平洋ランダム株式会社</p> <p>〒931-8555 富山県富山市岩瀬赤田町1番地 Tel 076-438-1211 Fax 076-438-8667 http://www.rundum.co.jp/</p> | <p>DREAMING Through ARCHITECTURE</p> <p>100th+NEXT STAGE SINCE 1920 次の世紀へ——</p> <p> 株式会社 藤水工務店</p> <p>本社 大阪市中央区備後町1-7-10 ☎06-4964-8700 (代) 本支店 大阪本店・東京支店・倉敷支店・四国支店・京都支店</p> |
| <p> TOKAI</p> <p>地域とともに 臨界エリアをはじめ 東京都のインフラ整備に取り組んでいます</p> <p>東海工営 株式会社</p> <p>代表取締役 小杉 成之 (昭和52年 土木工学科卒業)</p> <p>〒135-0061 東京都江東区豊洲1-3-1 TEL 03-5548-2517 URL http://www.tokai-koei.co.jp</p> | <p>飯田グループホールディングス  株式会社 アーネストワン</p> <p>取締役 西河 洋一</p> <p>併設 飯アーネストワン 一級建築士事務所</p> <p>〒188-0003 東京都西東京市北原町3-2-22 TEL 042-461-6288</p> | <p>まず、パートナーとして。 つぎに、エキスパートとして。</p> <p> 株式会社 建匠</p> <p>代表取締役 塚 越 浩 之 (559年 機械工学科卒)</p> <p>東京都葛飾区西亀有4丁目11番9号 TEL 03-5682-7102 https://www.kk-kensho.com</p> |
| <p>ここで創る 豊かなまち 輝くみらい</p>  <p>株式会社 丸西組</p> <p>代表取締役会長 西 正次 (昭和49年卒業)</p> <p>923-0811 石川県小松市白江町下121-1 TEL.0761-22-6100 FAX.0761-22-6123</p> | <p>人を想い、場を創る。</p> <p>OKamura</p> <p>株式会社オカムラ 日本橋支店 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー 11 階 TEL:03-3246-2411 FAX:03-3246-2419 http://www.okamura.co.jp/</p> | <p></p> <p>日本通運株式会社 関東甲信越ブロック ロジスティクスビジネスユニット 移転引越第二営業部 秋葉原事業所 〒114-0013 東京都北区東田端2丁目15番8号 連絡先 03-5901-9022 URL http://www.nittsu.co.jp</p> |

芝浦工業大学卒業生のおよそ3人に2人が 総合資格学院で合格を勝ち取っています!

令和3年度
1級建築士
設計製図試験

芝浦工業大学 卒業生
合格者占有率
卒業生合格者96名中、当学院当年度受講生63名

65.6%

※卒業学校別合格者数は、試験実施機関である(公財)建築技術教育普及センターの発表によるものです。※総合資格学院の合格者数には、「2級建築士」等を受験資格として申し込まれた方も含まれている可能性があります。<令和3年12月24日現在>

1級建築士試験

全国
合格者占有率

No.1

総合資格学院は「日本一」の合格実績!

令和3年度 1級建築士 学科・設計製図試験

令和3年度 1級建築士 設計製図試験

令和3年度 2級建築士 学科試験

全国
ストレート
合格者占有率
59.2%

全国
合格者占有率
52.7%

当学院基準達成
当年度受講生
合格率
94.0%

全国ストレート合格者1,342名中/当学院当年度受講生794名
(令和3年12月24日現在)

全国合格者3,765名中/当学院当年度受講生1,986名
(令和3年12月30日現在)

8割出席・8割宿題提出・総合模擬試験正答率6割達成
当年度受講生763名中/合格者717名 (令和3年8月24日現在)

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※全国合格者数・全国ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者とは、令和3年度1級建築士学科試験に合格し、令和3年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

法人サポートサービス

- ▶ 育成オリジナルプラン作成
- ▶ 各種合格ガイダンス
- ▶ 新卒採用支援
- ▶ 模擬試験・社内講習会 他

企業の将来を担う、
若手技術者の育成に
ご協力いたします。

学校・学生サポートサービス

- ▶ 学生向け建設情報誌の発刊
- ▶ 建設業界就職セミナーの実施
- ▶ 建設系イベント・大学・研究室支援
- ▶ 新卒就活サイト【総合資格navi】

総合資格学院は
全国の建設系学生を
応援しています。

法定講習 一級・二級・木造建築士定期講習/管理建築士講習/監理技術者講習/第一種電気工事士定期講習/宅建登録講習/宅建登録実務講習

- | | | | | | | | | | |
|-----------|------------------------|-------|-------------------|-------------------|--------------------|----------------|---------|-------------------|----------------|
| 1級・2級 建築士 | 構造設計1級建築士 設備設計1級建築士 | 建築設備士 | 1級・2級 建築施工管理技士 | 1級・2級 土木施工管理技士 | 1級・2級 管工事施工管理技士 | 1級 造園施工管理技士 | 宅地建物取引士 | インテリア コーディネーター | 賃貸不動産 経営管理士 |
|-----------|------------------------|-------|-------------------|-------------------|--------------------|----------------|---------|-------------------|----------------|

芝浦工業大学校友会を通じて講座へとお申込みいただくと特別価格にてご案内いたします

総合資格学院

スクールサイト www.shikaku.co.jp
コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp



新宿校 TEL.03-3340-5671 吉祥寺校 TEL.0422-23-6011
池袋校 TEL.03-3982-8211 立川校 TEL.042-524-7841
上野校 TEL.03-3832-7201 北千住校 TEL.03-5284-3911
五反田校 TEL.03-6408-9711 町田校 TEL.042-724-3061

おかげさまで総合資格学院は「合格実績日本一」を達成しました。これからは有資格者の育成を通じて、業界の発展に貢献して参ります。



空気調和・給排水・冷凍冷蔵 設備の設計・施工・保守



〒143-0023 東京都大田区山王2丁目5番9号
TEL 03-6429-3600

不二熱学工業株式会社



新日本リフォーム株式会社

- 大規模修繕工事 ● 耐震補強設計・補強工事
- 給排水・空調設備工事 ● 原状回復工事
- 個人宅リフォーム・リノベーション工事

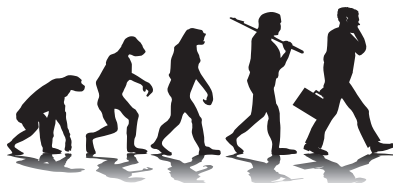
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-3-13 三建室町ビル 4階
TEL:03-3241-8814 FAX:03-3270-1538
URL: <http://www.sn-reform.co.jp/> 担当: 渡辺

私たちは、「現場力」と「提案力」にこだわり、お客様に「安全・安心」と「快適」を提供してまいります。

あしたを、つなぐ 野村不動産パートナーズ

〒163-0562 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
新宿野村ビル8階
教育施設事業一部 TEL03(3345)0672
<http://www.nomura-pt.co.jp>

変わり続けるDNA



HEXEL Works Inc.

東京都港区芝大門 1-1-30 / TEL:03-3459-3366 / URL: <https://www.hexel.co.jp/>

New Business Contractor



WitteiLife 株式会社ニッテイライフ

不動産建設 芝浦会
代表取締役 佐藤 隆之
(H2 工業経営 卒)

本社 東京都新宿区新宿 6-28-7 新宿イーストコート 3階
〒160-0022 TEL.03-4589-6911 FAX.03-4589-6312
目黒支店 東京都目黒区下目黒1丁目1-14 コノトラビル 4階
〒153-0064 TEL.03-6420-0081 FAX.03-6420-0085
高円寺支店 東京都杉並区高円寺南 4-26-16 戸野ビル 3階
〒166-0003 TEL.03-6383-1771 FAX.03-6383-1882

研究成果を『西河「技術経営学」入門』
に整理し、芙蓉書房から出版。

西河
技術経営学
入門

アーネスト育成財団・編著
西河洋一・小平和一朗
浅野昌宏・杉本晴彦

経営人財の育成に取り組む
西河技術経営塾の真髓が
この一冊に!

経営戦略やマーケティング理論などの中から、
経営経験に基づいて実践的に使える知見をわかりやすく整理

(定価2,800円+税)

「技術経営学」は、あらゆる経営者にとって重要な基礎知識であるにも関わらず、学問化が遅れている。「経営学」があっても、「技術経営学」は見当たらない。経営に関する知識がない大学の学生が本書を読めば、経営における技術の役割が理解できることに狙いを置いている。時代を超えることができる知識の集積化であり「技術経営学」の体系化を目指している。

本書「著者の実学、教示経験が結集した名著」と評価されました。(全365頁)

技術経営人財の育成と活用
一般財団法人
アーネスト育成財団
理事長 西河 洋一
東京都渋谷区代々木
1-57-2 ドルミ代々木704号
TEL(03)6276-6260
http://www.eufd.org

一般法人・医療法人・学校法人等決算業務
相続税、贈与税申告及び事前対策・M&A等
同族法人等株価対策・その他資産税全般

朱田 税務 会計 事務所
税理士 朱田 光 洋
(芝浦工業大学 監事)

〒103-0004 東京都中央区東日本橋2丁目22番2号
ESビル5階
TEL 03-5839-2115 FAX 5839-2116



関東自動車株式会社
埼玉県さいたま市浦和区仲町2-3-19
TEL:048-831-2611
URL:https://www.kanto-m.co.jp

電気の仕事は、
自分たちのために
するものではない。
それが東光電気工事の
心意気です。
私たちはこれからも
技術を磨き、
人と社会のため
力を尽くして
まいります。

人様の役に立ってるなんて
うれしいじゃないか。

創業1923年

東光電気工事株式会社
〒101-8350
東京都千代田区西神田一丁目4番5号
TEL:03-3292-2111
www.tokodenko.co.jp

豊かな環境をクリエイトする

総合電気設備工事
扶桑電機株式会社
代表取締役 鬼嶋 一司

本社 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-12-8
〒222-0033 ☎045-472-0201(代)

東京支店 東京都渋谷区本町 2-16-4 扶桑東京ビル
〒151-0071 ☎03-3376-1444(代)
http://www.fuso-denki.co.jp

BADGE & MEDAL
FACTORY
NAKAJIMA KISHO Co.Ltd.
since 1918
有限会社 中島徽章
代表取締役 中島博行
(昭和60年 金賞科卒)

〒111-0036 東京都台東区松が谷2-16-3
TEL 03-3844-2207 Fax 03-3845-5005

各種電気・計装制御・空調衛生・クリ-ルーム設備等
総合設備の企画・設計・施工・メンテナンス

光・水・空気の総合エンジニアリング
三宝電機株式会社
SEAMEC Sampo Electrical And Mechanical Engineering Corporation
https://www.seamec.co.jp

最適環境空間を最新の技術でお届け致します

【本 社】大阪市北区大淀中1-5-1
TEL.06-6451-3311

【東京支店】東京都港区西新橋3-8-3
フデ イグ新橋ビル5F
TEL.03-5472-3311

造園設計施工・緑化土木事業
株式会社 豊橋園芸ガーデン
http://www.garden-g.com/

代表取締役会長 榎原 周造
(1970年卒 建築工学科)

- 豊 橋 本 社 〒441-8077 豊橋市神野新田町水神下64
TEL: 0532-45-6679
- 東京オフィス 〒114-0014 東京都北区田端3-5-8(501)
TEL: 03-5834-8786
- 名古屋事業所 〒454-0059 名古屋市中川区福川町3-1-22
TEL: 052-369-2060
- 知多事業所 〒470-2203 知多郡阿久比町板山西ノ瀬道山16-4
TEL: 0569-47-1220

消防用設備施工保守管理
赤城工業株式会社
東京都板橋区水川町43-4
TEL 03(3963)3711(代表)

三井住友銀行
SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

ファサードエンジニアリングのリーディングカンパニー

旭ビルウォール株式会社
URL:http://www.agb.co.jp

特別顧問
鈴見 健夫 (S45 建築)

〒111-0036 東京都台東区松が谷 1-3-5 JPR 上野イーストビル 8 階
TEL.03-5806-3110 FAX.03-5806-9688

株式会社 加藤組
Building Dreams

代表取締役 齋藤 寛 (昭和47年 建工卒)

本 社 〒220-8130 横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー30階
TEL.045-641-7541 FAX.045-664-5360

四国支店 〒771-0141 徳島県徳島市川内町竹須賀65 Do・三木ビル1階
TEL.088-665-5655 FAX.088-665-2008

(株)宮建築設計

代表取締役 宮本 博

昭和47年卒 建築学科
(校友会 徳島県支部顧問)

本社：徳島市福島1-5-6 TEL:088-625-5505
東京本店：中央区八丁堀2-28-10 宮設計ビル TEL:03-6280-3305
<http://www.miyasekkei.com>
E-mail:miyamoto@miyasekkei.com



業務用酒類食材卸
宮内庁御用達
享保2年(1717年)創業

株式会社 **ぬ利彦**

代表取締役 九代目 中澤彦七
東京都中央区京橋2丁目9番2号
電話 (3535) 5311 (代表)



加工開発のメーカーです。
セラミックスの加工は
当社へご相談ください。

会長 小貫 諭

(1975 工化卒 1977 修士修了)

群馬セラミックス株式会社

〒375-0055
群馬県藤岡市白石1444
Tel 0274-22-2096 Fax 0274-24-4974
<https://www.guncera.co.jp>

ジャンプロテクトグループは
お客様へ「安全」「安心」「信頼」をお届けします

警備業を軸に環境事業・人材派遣の
トータルマネジメントサービスを提供する

ジャンプロテクト株式会社

102-0084 東京都千代田区二番町5-7 JPビル
03-3265-6861(代) <http://www.jp-group.jp>

快適な環境づくりに
確かな技術で貢献する

 住友電設株式会社

取締役社長 谷 信

<https://www.sem.co.jp/>



オーグラホテルズ&リゾーツ
HOTEL East 21 東京
東京都江東区東陽6-3-3
TEL.03-5683-5683 (代表)

地球環境を大切に

株式会社 **日本環境設計**

代表取締役社長 加藤 善次郎
(昭和55年機械卒)

〒231-0028 横浜市中区翁町2-9 ファム横浜本社ビル5階
TEL 045-212-2757 (代)
FAX 045-212-2758
<http://www.jtd-me.jp>



優しさと潤いと安らぎを人と環境に
コンクリートブロックの総合メーカー

 株式会社 **よねざわ工業**

〒061-1405 北海道恵庭市戸磯596番地6
TEL 0123-32-2221 (代)
FAX 0123-33-1191

ホームページもぜひご覧ください。
<http://www.yonezawa-k.co.jp>



 三井住友建設
<https://www.smcon.co.jp>

はしも、
まちも、
ひとも。


橋をわたり、街をあるき、大切な人とごす。
そんな日々のくらしがいつまでも続くよう、
豊かな未来につながるものづくりに全力で取り組みます。

KOKUYO

ひらめき・はかどり・こちよさ

コクヨマーケティング株式会社

〒100-6018 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング18階

 株式会社 **遠藤製作所**

(昭和43年卒 機械工学科)

代表取締役社長 **遠藤 亘持**

ENDOHO NOBUYOSHI

〒362-0058 埼玉県上尾市上野537番地
TEL.048(725)2061(代)
FAX. 048(725)2063
E-mail: info@endohss.com
<http://www.endohss.com>

JRいわき駅より徒歩1分

HOTEL いわき

〒970-8026
福島県いわき市平字白銀町8-9
TEL FAX
0246-23-3188 0246-23-3128
HPからのご予約
<http://www.hotel-iwaki.com/>

たとえば、テニスやバドミントン。
シングルスはもちろんですが、
ダブルスも魅力的だと思いませんか。
緻密な戦略を立てながら、
互いを助け合う。
コンビネーションが勝利のカギになります。



ダブルスのように、
ヒトとロボットが手を組んだ新しい取り組みが
建設業でも始まっています。
「鹿島スマート生産」。
ヒトとロボットによる、
スマートな生産プロセスが実現していきます。

ヒトとロボットがつくる、新しい建設業へ。

100年をつくる会社



鹿島建設株式会社
鹿島建設株式会社横浜支店

代表取締役社長
副社長執行役員支店長

天野裕正
野村高男

NIKKEN

EXPERIENCE, INTEGRATED

日建設計

代表取締役社長 大松 敦
 東京都千代田区飯田橋2-18-3 Tel. 03-5226-3030
<https://www.nikken.jp>

「目指すは
冷間鍛造技術日本一」



経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業 採択企業

代表取締役社長 土田 雄一郎

住所：岐阜県各務原市金属団地68番地
 TEL：058-382-7171

丸嘉工業

UCHIDA

内田洋行

高等教育事業部

〒135-0016
 東京都江東区東陽2-3-25
 TEL 03(5634)6292
 FAX 03(5634)6861



学校法人芝浦工業大学 事業法人
株式会社エスアイテック

代表取締役 中本 仁

お仕事紹介・転職支援をお手伝いします

技術人材募集・登録受付中

エスアイテック

検索



TEL：03-5859-7930（金澤・澤中）

URL：http://www.sitech-jp.com



PÂTISSERIE CREATIONS
GATEAU FESTA HARADA

株式会社 原田

代表取締役 原田 義人

〒370-1301 群馬県高崎市新町1207
 TEL 0274-40-3331 FAX 0274-40-3341



世界初の多能式自動券売機を開発
 （日本機械学会 機械遺産「第50号」認定）
 交通システム機器のパイオニア

株式会社 高見沢サマパネテックス

代表取締役社長 高見澤 和夫

〒164-0011 東京都中野区中央2丁目4番5号
 TEL 03-3227-3361
 URL <https://www.tacy.co.jp>

竹中工務店グループ
TAKENAKA

建物を育て 未来へつなぐ

アサヒファシリティズ

建物維持管理事業 / 不動産事業 / 保険代理事業

本社：〒136-0076 東京都江東区南砂2丁目5番14号
 TEL.(03) 5683-1181

営業拠点：札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・京都・神戸・高松・広島・福岡



<https://skk.jp/>
三建設備工業

人と空気と水の
 環境創造。

Kinden

きんでん

東京支社

執行役員 支社長
 石藤 清孝



“喜び”を実現する企業グループ

戸田建設



火の安心を、つくろう。
 Wishing for Your Safety

消火設備のNo.1シェアを持つ
 リーディングカンパニーとして、
 100年以上

命と財産を守ってきました。

『人々がもっと安心して、
 火と暮らしてゆける未来』

をつくるのが、
 私たちの使命です。

ヤマトプロテック株式会社
 東京都港区白金台5-17-2/tel.03-3446-7151

axona AICHI

—集いと学び空間をデザインする—

愛知株式会社東京本部

〒104-0033

東京都中央区新川1-17-25東茅場町有楽ビル1F

TEL:03-6222-0816 FAX:03-3555-0016

URL:<http://www.axona-aichi.com>



明日の「働く」を、**デザインする。**

株式会社イトーキ

東京都中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング <https://www.itoki.jp/>

未来の
自分のために

芝浦工業大学校友会

日建学院

芝浦工業大学校友会様 提携講座の詳細は…
<http://www.shibaura-koyu.jp/sk>



建築資料研究社 日建学院

専門分野ごとに確立した技術力と企画力、さらには最新の設備・体制で顧客様の、そして人々の「夢の実現」をトータルサポートいたします。

総合建築・耐震・リニューアル・専門工事

N 中島建工 株式会社

代表取締役 中島 道宏

埼玉県さいたま市浦和区領家5-12-20

TEL 048-886-8877

<http://www.nakajimakenko.co.jp/>

LIXIL

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な住生活の未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

株式会社 LIXIL <https://www.lixil.co.jp/>

高砂熱学

代表取締役社長COO 小島和人

〒160-0022

東京都新宿区6-27-30

電話 03-6369-8212



H02 工化卒
伊藤 博之

ワインバー・ワインの小売販売
ワインの通信販売、全国発送可能

「男と女のワイン術」
伊藤博之・柴田さなえ著
日本経済新聞出版社刊



わいん 博之
たるたる

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-10-1
TEL: 03-5565-9898

電気通信設備工事・電気工事のことならお任せ下さい

お客様の多様なご要望に対し
何事にも安全・迅速にお応えできる技術集団です

IZUMIコミュニケーションサービス株式会社

代表取締役 大橋 晃 (昭和56年 通信工学科卒)

〒144-0052 東京都大田区蒲田一丁目7番10号IZUMIビル

TEL: 03-5714-0692 FAX: 03-5714-0696

URL <http://www.y-jet.co.jp>

建築とまちづくり

株式会社 アルセッド建築研究所

代表取締役 所長 三井所 清典

代表取締役 副所長 大倉 靖彦

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷1丁目20番1号

電話 03-3409-4532 FAX 03-3409-3394

<http://www.alsed.co.jp>



永い歴史と経験に培われた技術力で

皆様のご期待に沿えますよう全力を尽くして参ります

ハヤシレピック株式会社 旧林時計工業(株)

本社 〒170-0004 東京都豊島区北大塚1丁目28番3号

TEL: 03-3918-5237 URL: <http://www.h-repic.co.jp>

第1事業部 ルミナーエース(光源), LED照明, 電動ドライバー

第2事業部 ペルチエ式電子クーラー, デジタル温度調節器

第3事業部 半導体組立, 厚膜印刷

第4事業部 同軸コネクタ, ケーブル, スイッチ, センサー, チェンバー

第5事業部 パーツフィッター, 省力化装置, プレス部品, 各種組立作業

連絡先: 安田俊司 平成4年機械二科卒

s-vasuda@h-repic.co.jp

校友会相談役 金井昭三 昭和41年機械二科卒 sho-kanai@sky.plala.or.jp

「祝 全国総会」



芝浦工業大学校友会

会 長 加 藤 善次郎
副 会 長 福 井 幸 博
副 会 長 飯 島 敏 春
副 会 長 新 井 剛
監 査 役 小 貫 諭
常 任 幹 事 会 議 長 林 田 和 雄

副 会 長 吉 池 富士夫
副 会 長 釜 井 重 一
副 会 長 長 谷 川 健 嗣
監 査 役 小 川 達 生
監 査 役 作 山 康
事 務 局 長 渡 辺 通 宏

校歌

旧校歌

第二応援歌

山田耕作 作曲
北原白秋 作詞

須川政太郎 作曲
有元 史朗 作詞

一、朝日に輝く 風と潮

雄大 空あり 雲は移る

仰げよ校旗の 翩翻たるを

白亜の殿堂 ここに聳え

われらが工学 英気鍾む

芝浦 芝浦 われらが母校

一、巨鯨潮吹き鵬の舞つ

旭陽つけて天そる

関東の野に麦萌ゆと

雲雀天に告げんとす

二、東京湾頭波もなく 墨水流れ鷗浮く

都の枢要地を占むる 工の業の学び校の

三、科学の世界工業の 進歩やまこと驥々乎

二、世紀に脈つづ 熱と理性

剛健 矩あり 常に鍛ふ

行へばがらに 澆刺たれや

師弟の純情 一に依りて

磨くこの技 神に通ず

芝浦 芝浦 われらが母校

四、曲学阿世時得とも 夕を待たで凋み散る

権花一朝の栄えあり 真理に立てる学にして

まことの学の権威あり 学の独立守らでや

三、永遠に栄ゆく 意思と秩序

誠実 ただあり 道は徹る

夢むな空理の 漠々たるを

精微をきはめて 事に即かば

工学日本 大を成さん

芝浦 芝浦 われらが母校

五、世界文化に貢献し 人類の平和招くべく

太古バビロンに夢むてふ バベルの塔を築くこそ

学徒の荷つ務めなれ 我等の懐く望みなれ

六、キイツはいいぬ美しき ものこそ永遠のかんきなれ

趣味実用を兼ね備つ 美の殿堂を築くべき

使命は重しわが肩に 望みは高しわが胸に

●荒波浴びる

荒波浴びる芝浦に

そびゆる工大わが母校

伝統ここに五十年

文化の渦潮導きて

静穩精進に敵はなし

おお芝浦エンジニア

第二応援歌

一、雄図秘めし若人の

胸高鳴るや いかにせん

芝浦健児 ここにあり

正々堂々 たたかわん

最後に取るは 勝利なり

芝浦 芝浦 芝浦

二、錬磨の日々ぞ 涙あり

聞けよ王者の おたけびを

芝浦健児 ここにあり

正々堂々 たたかわん

必ずとるは 勝利なり

芝浦 芝浦 芝浦



芝浦工業大学 校友会



校友会ホームページはこちら
<http://www.shibaura-koyu.jp/>